



Ⅱ 分野別計画

長期構想

後期中期計画 分野別計画

将来都市像	都市づくりの基本方向	政策・施策
<p>将来都市像 I</p> <p>中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」</p>	<p>1</p> <p>地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり</p>	<p>政策 1 新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興（産業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①強みと特性をいかした産業競争力の強化 ②中小企業・小規模企業の育成・支援と経営安定化 ③拠点性をいかした企業立地の推進 ④企業人材の確保と育成 <p>政策 2 魅力と賑わいのある中心市街地の創出（中心市街地）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり ②賑わいにつながる回遊性の向上 ③魅力的な商店街の振興 ④高次都市機能の充実・強化 <p>政策 3 多彩で活力ある農林水産業の振興（農林水産業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①意欲ある農業者による多様な生産の選択と拡大 ②生産基盤の整備と農村の再生・強化 ③地産地消で市民が支え誇れる農業都市づくり ④森林の活用と水産業の振興 <p>政策 4 国内外の人を惹きつける観光・交流の推進（観光・交流）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①広域的な観光・インバウンドの推進 ②産官学連携によるコンベンションの誘致 ③戦略的なプロモーションによる都市ブランドの確立 ④移住・定住の促進
	<p>2</p> <p>コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり</p>	<p>政策 5 周辺地域の拠点機能の充実と活性化（都市・周辺地域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①活力ある拠点の形成と適正な土地利用の推進 ②周辺地域の活性化と交流の促進 <p>政策 6 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築（交通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築 ②地域における生活交通の確保 ③自転車先進都市の推進 ④道路ネットワークの充実・強化 <p>政策 7 魅力ある景観と快適な住環境づくり（景観・住環境）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①美しく風格ある都市景観の形成 ②水と緑あふれる憩いの空間づくり ③快適で暮らしやすい住環境づくり
	<p>3</p> <p>歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり</p>	<p>政策 8 歴史・文化による新たな魅力の創出と発信（歴史・文化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①歴史・文化資産をいかしたまちの魅力の創造と発信 ②歴史・文化資産の活用と継承 <p>政策 9 暮らしに息づく文化芸術の振興（文化芸術）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文化芸術施設を核にした文化芸術の振興 ②市民の文化芸術活動の推進 <p>政策 10 地域の活力を育むスポーツの振興（スポーツ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成 ②東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域振興と競技力の向上 ③ライフステージに応じたスポーツの振興
<p>将来都市像 II</p> <p>誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」</p>	<p>4</p> <p>安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり</p>	<p>政策 11 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり（子育て）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①仕事と子育ての両立のための基盤整備 ②子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進 ③母子の健康づくりへの支援 ④子育ての負担感や不安感をやわらげる支援 <p>政策 12 子どもの健やかな成長と若者の自立の支援（健全育成、自立）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり ②困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援 ③若者の健全な成長と自立の支援 <p>政策 13 女性や若者が活躍できる社会づくり（女性・若者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①男女共同参画の推進 ②若者の力をいかした地域づくり
	<p>5</p> <p>つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり</p>	<p>政策 14 知・徳・体の調和のとれた自立に向かって成長する子どもの育成（学校教育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①主体的な学びの推進による確かな学力の育成 ②人や自然との関わりを通じた豊かな心の育成 ③健康教育の充実による健やかな体の育成 ④一人ひとりの育ちを支える指導・支援の充実 <p>政策 15 家庭・学校・地域が協働で進める教育力の向上（教育環境）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教職員の資質能力の向上と支援体制の充実 ②安全・安心で快適な教育環境の整備 ③家庭・学校・地域の連携強化 <p>政策 16 生涯にわたる豊かな学びの充実（生涯学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①豊かな学びの機会と場の提供

長期構想

後期中期計画 分野別計画

長期構想		後期中期計画 分野別計画	
将来都市像	都市づくりの基本方向	政策・施策	
<p>将来都市像Ⅱ</p> <p>誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」</p>	<p>6</p> <p>理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり</p>	<p>政策17 多様な主体による協働のまちづくり（協働、ESD）</p> <p>①SDGs達成に向けたESDの推進 ②地域における主体的な活動の促進 ③多様な主体による協働の推進 ④特色ある区づくりの推進</p> <p>政策18 国際的に開かれた多文化共生のまちづくり（国際）</p> <p>①国際交流の促進とグローバル人材の育成 ②多文化共生の環境づくり</p> <p>政策19 誰もが個性と能力を発揮できる人権尊重の社会づくり（人権）</p> <p>①人権意識の高揚 ②平和を大切にす意識の醸成</p>	
	<p>7</p> <p>住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり</p>	<p>政策20 生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり（健康）</p> <p>①健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進 ②いきいきと活躍できる生涯現役社会づくり ③介護予防の推進 ④感染症対策</p> <p>政策21 豊富な医療・介護資源をいかした安心の暮らしづくり（医療・介護）</p> <p>①地域包括ケアシステムの構築 ②在宅医療・介護の推進 ③認知症対策の推進 ④持続可能な保険制度の運営</p> <p>政策22 とともに生き、ともに支え合う地域共生社会の推進（福祉）</p> <p>①障害者の自立支援と社会参加の促進 ②重層的なセーフティネットの構築 ③地域福祉の推進 ④総合相談支援体制づくり</p> <p>政策23 災害に強く安全・安心な都市基盤の整備（防災・減災）</p> <p>①総合的な浸水対策の推進 ②市有施設等の耐震化・長寿命化の推進 ③都市施設の安全・安心の確保 ④ライフラインの計画的な整備・管理</p> <p>政策24 地域防災力の強化と消防救急体制の充実（地域防災）</p> <p>①地域防災力の強化 ②消防救急体制の充実強化</p> <p>政策25 安全・安心な市民生活の確保（市民生活）</p> <p>①地域防犯力の強化と交通安全対策の推進 ②消費生活の安全・安心の確保</p> <p>政策26 岡山から広げる地域に根ざした環境づくり（環境活動）</p> <p>①生物多様性の保全と環境との共生 ②環境負荷低減への取組 ③環境教育・学習の推進 ④市民、事業者との協働による美しく快適なまちづくり</p> <p>政策27 脱炭素社会をめざす環境にやさしいまちづくり（脱炭素）</p> <p>①再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化の促進 ②環境にも人にもやさしいライフスタイルへの転換</p> <p>政策28 みんなで進める循環型社会の構築（循環型社会）</p> <p>①ごみの減量化とリサイクルの推進 ②廃棄物の適正処理の推進 ③総合的な污水处理対策の推進</p>	
	<p>8</p> <p>地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり</p>	<p>9</p> <p>豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり</p>	
<p>将来都市像Ⅲ</p> <p>全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」</p>	<p>10</p> <p>圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営</p>	<p>政策29 分権・人口減少社会を踏まえた行政の推進（地方創生、行政体制）</p> <p>①地方創生の推進 ②圏域をリードする広域連携の推進 ③大都市制度の推進</p> <p>政策30 将来世代に責任を持つ自主・自立的な行財政運営（行財政運営）（行財政改革推進プラン）</p> <p>①健全で持続可能な財政運営 ②公共施設等のマネジメントの推進 ③行政のスマート化 ④組織力の向上 ⑤公民連携と透明性の高い市政運営</p>	
<p>都市経営</p>			



【将来都市像 I】

中四国をリードし、活力と創造性あふれる

「経済・交流都市」

都市づくりの基本方向

1 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

- 政策1 新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興（産業）
- 政策2 魅力と賑わいのある中心市街地の創出（中心市街地）
- 政策3 多彩で活力ある農林水産業の振興（農林水産業）
- 政策4 国内外の人を惹きつける観光・交流の推進（観光・交流）

2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

- 政策5 周辺地域の拠点機能の充実と活性化（都市・周辺地域）
- 政策6 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築（交通）
- 政策7 魅力ある景観と快適な住環境づくり（景観・住環境）

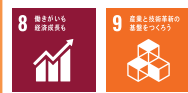
3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり

- 政策8 歴史・文化による新たな魅力の創出と発信（歴史・文化）
- 政策9 暮らしに息づく文化芸術の振興（文化芸術）
- 政策10 地域の活力を育むスポーツの振興（スポーツ）



政策1
産業

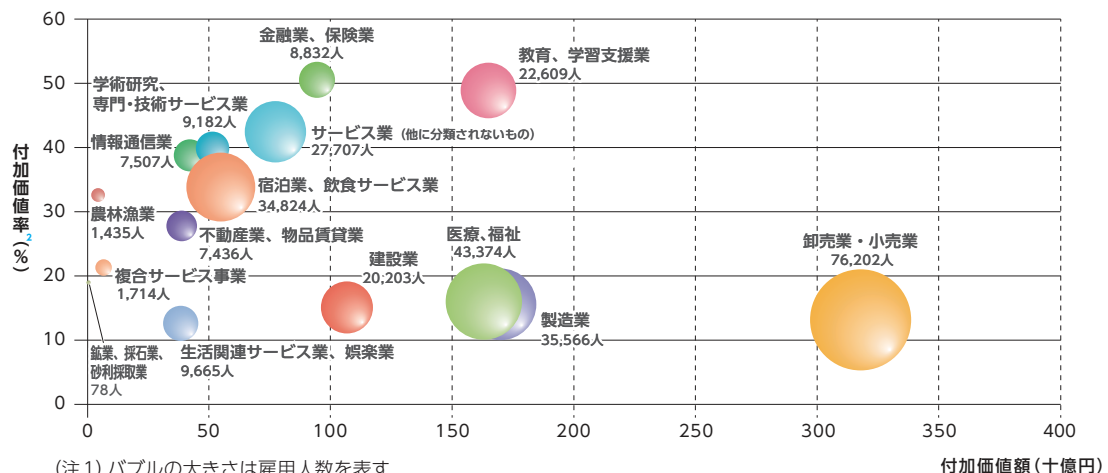
新たな雇用と活力を生む 戦略的な産業振興



現状と課題

- 人口減少や少子高齢化の加速による労働力不足、経営者の高齢化に伴う後継者不足、人口の東京一極集中の進行により、地域内の需要が減少し地域経済の活力低下が懸念される中、岡山市の優位性をいかした産業振興を進めることにより、地域経済を活性化し、安定した雇用を創出していくことが求められています。
- 岡山市は、「医療・福祉」産業の事業所数、従業者数がともに多く、市民の健康と生命を守る医療・介護資源の蓄積があります。このような岡山市の強みや特性をいかしつつ、高齢化の進行や健康志向の高まりにより将来的な需要増が見込まれるヘルスケア関連分野を中心に、付加価値の高い産業の創出・育成を図っていく必要があります。
- 市内企業の大半を占める中小企業・小規模企業には、経営基盤が弱い企業も多く、市場規模の縮小や人材不足等、経営環境が厳しさを増す中で、経営力を向上させ、環境の変化を乗り越えていくための支援が求められています。また、岡山市の開業率は全国平均を上回っていますが、事業所数が安定して増加していないことから、起業家やベンチャー企業が活動しやすい環境を整え、創業や安定した事業継続につなげていく必要があります。
- 岡山市は、中四国のゲートウェイとして優れた広域拠点性を有し、災害のリスクも低いことから、製造業や物流施設などのほか、本社や中四国支店等の広域的営業拠点の立地において優位性を有しています。また、市内には大学やIT系の専門学校等の高等教育機関が多く、学生が集まってきていることから、今後も継続的に企業立地を推進することにより、ニーズが高い事務系職種やIT関連職種をはじめとした雇用を創出していく必要があります。
- 岡山市の有効求人倍率¹は高い水準で推移していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により急落しています。労働市場は売り手市場から買い手市場に転換する兆しがあると言われていますが、一部の業種を除き、中小企業等では人手不足を背景に新規学卒予定者の採用意欲については前向きな状況が続いています。新規学卒予定者等の若者は、企業の規模や業績だけでなく、実際の仕事内容や福利厚生等の働きやすさに高い関心を持っている一方、多くの中小企業等は情報発信力が弱く、自社の魅力を十分に伝えられていない状況にあります。このため、中小企業等の若手人材確保を支援するとともに、福利厚生事業の充実を促すことにより、企業活動の活性化を促進する必要があります。
- 新型コロナウイルス感染症による縮小した経済の回復、先行き不透明な中での景気低迷の長期化への備え、働き方・業態・生活様式の変化に対応した産業の支援を図っていく必要があります。また、リスク分散等の観点から、企業の地方への機能分散等の企業動向の変化を注視していく必要があります。

岡山市産業(企業ベース)の稼ぐ力と雇う力(平成28年)



(注1) バブルの大きさは雇員数を表す
 (注2) 事業所を調査対象としているため、個人事業主の多い農林漁業の値が小さくなる
 (注3) 「電気・ガス・熱供給・水道業」及び「運輸業、郵便業」は秘匿データがあるため掲載していない
 (資料) 総務省・経済産業省「経済センサス活動調査(H28)」

施策の方向性

施策1

強みと特性をいかした産業競争力の強化

- 豊富な医療・介護資源等の強みや特性をいかし、産学官金³の幅広い交流・連携を通じて、市民の健康な生活をサポートする付加価値の高いヘルスケア関連産業等、新産業の創出・育成を図ります。

施策2

中小企業・小規模企業の育成・支援と経営安定化

- 中小ものづくり企業等の受注機会の拡大に向けて、県外で開催される大規模展示会等への出展を支援し、新規取引先の開拓や販路拡大のための取組を促進するとともに、経済関係団体等との緊密な連携により、企業の海外展開を支援します。さらに、顕在化する人材不足・人員不足という課題に対応するため、IoT⁴・AI⁵等の先端技術導入を支援し、業務の省力化・効率化及び生産性向上並びに先端技術を担う技術者等の育成を促進します。
- 大学や商工会議所・商工会等との連携により、新製品の開発、技術力向上等を支援するとともに、経営安定化に向けた資金調達の円滑化や経営相談、人材育成を支援します。また、中小企業の貴重な経営資源や、雇用・技術を次世代に引き継ぐため、円滑な事業承継を支援します。
- 創業に必要な実務知識の習得や初期投資への支援等を強化し、起業家やベンチャー企業が創業しやすい環境づくりを進めます。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ「新しい生活様式⁶」に対応する業態転換やデジタル技術等を活用した非対面ビジネス、テレワーク⁷など、事業者の新たな取組を支援します。

施策3

拠点性をいかした企業立地の推進

- 市内外の人材の移住・定住につながる魅力ある雇用の創出を図るため、幅広い業種の企業の立地を推進します。
- 岡山市の立地環境の優位性を首都圏等の企業に積極的にPRし、企業の本社機能や中四国支店等の広域的営業拠点の立地を進めることにより、ニーズの高い事務系職種やIT関連職種をはじめとした雇用を創出します。
- 市内に本社を有する企業の本社機能の拡充や、市内に立地する製造業の設備等への再投資の支援など、市内立地企業の拠点強化及び機能強化を図り、市外への流出を防止します。

施策4

企業人材の確保と育成

- 中小企業等の人材確保に向け、新規学卒予定者等の若者やUIJターン⁸希望者等への企業情報の効果的な発信の支援や、企業説明会の機会を充実することにより、雇用のマッチングを推進します。
- 関係機関と連携して、市内の企業経営者や従業員に対する研修機会を充実することにより、人材の育成、多様な人材が活躍できる環境づくりを支援します。
- 中小企業等で働く勤労者の福祉の増進、教養・文化の向上等を図ることにより、勤労者が生きがいを持ち、安心して働くことができる労働環境づくりを進めます。

用語解説

- 1 有効求人倍率：求職者1人あたり何件の求人があるかを示す指標。公共職業安定所で受理された求人・求職に限られ、新規学卒者の求人・求職は含まれない。この数値が1.0より大きい小さいかで、労働市場の需要超過、供給超過の状態を知ることができる。
- 2 付加価値率：「付加価値額(企業がその年に生み出した利益。営業利益に人件費・減価償却費を足した額。)」を「売上金額」で除したもの。売上のうち付加価値(企業の利益・従事者への給与・行政への納税)が発生した割合を表す。
- 3 産学官金：産業界(民間企業)、学校(教育・研究機関)、官公庁(国・地方公共団体)、金融機関(銀行等)の四者を指す。
- 4 IoT：Internet of Things(モノのインターネット)の略。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すというコンセプトを表した語。
- 5 AI：p31の脚注参照。
- 6 新しい生活様式：p27の脚注参照。
- 7 テレワーク：p25の脚注参照。
- 8 UIJターン：大都市圏から出身地に移住する「Uターン」、出身地以外の地方に移住する「Iターン」、出身地の近くの地方都市に移住する「Jターン」など、大都市圏の居住者が地方に移住する際の形態の総称。

指標名	基準値 R1	目標値 R7
市の創業支援による創業者数	22者 (H30)	50者
企業立地・再投資件数	60件 (H28～R1の合計)	116件 (H28～R7の合計)

施策1 強みと特性をいかした産業競争力の強化

■新産業創出・育成事業 産業観光局

- ・「岡山ヘルスケア産業連携協議会」における異業種交流やビジネスマッチング等の活動を通じた新たな製品・サービスの開発及び事業化を図るために必要な異業種連携の促進等の実施

施策2 中小企業・小規模企業の育成・支援と経営安定化

■ものづくり産業振興事業 産業観光局

- ・中小ものづくり企業等を対象とした新商品の研究・試作開発費に対する補助や県外見本市等に出展する際の小間料等に対する補助、IoT・AI等先端技術の導入に対する補助
- ・中小ものづくり企業等の受注機会の拡大を目的とした、新規取引先の開拓・販路拡大をめざした広域商談会の開催や大規模展示会等への出展

■ものづくり産学官連携推進事業 産業観光局

- ・岡山大インキュベータ⁹の入居者に対する賃料の補助

■海外展開支援事業 産業観光局

- ・OIBA（岡山県国際協会経済交流会）、JETRO岡山（日本貿易振興機構 岡山貿易情報センター）、岡山EU協会との連携による、中小ものづくり企業等の海外市場への販路拡大の支援
- ・市内企業の海外展開に要する経費への補助

■中小企業の経営安定化事業（融資制度資金貸付、経営診断） 産業観光局

- ・中小企業の事業資金の調達支援や経営相談の実施
- ・事業承継時に必要な資金及び承継後の運転資金、設備資金の調達支援

■中小企業活性化事業・創業支援事業 産業観光局

- ・中小企業を対象とした各種経営セミナーや人材育成研修の開催、設備投資や事業承継に対する補助
- ・おかやまスタートアップ¹⁰支援拠点事業
- ・創業に要する経費への補助

■商業団体等助成事業 産業観光局

- ・商工会議所、各商工会が行う経営改善普及事業等に対する補助

施策3 拠点性をいかした企業立地の推進

■ 企業立地推進事業 産業観光局

- 製造工場等の立地企業に対する補助
- 再投資・拠点強化を行う市内既存工場等に対する補助
- 物流施設の立地企業に対する補助
- 本社、本社機能、中四国支店等広域的拠点の立地企業に対する補助
- IT・デジタルコンテンツ産業等の立地企業に対する補助

施策4 企業人材の確保と育成

■ 雇用対策等事業 産業観光局

- 新規学卒者やUIターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催、大学生等が市内企業へ関心を高めるための交流事業等
- 新しい生活様式に対応する新入社員採用活動への支援
- 市内企業の企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への提供による情報発信支援

■ 勤労者サポートプラザ事業 産業観光局

- 市内中小企業を対象とした福利厚生事業を行う「岡山市勤労者サポートプラザ」が実施する会員加入促進事業等に対する補助

用語解説

- 9 インキュベータ：起業家を支援・育成するため、行政等が整備する低コストの賃貸オフィスや研究開発のための施設。入居者には、設備だけではなく、技術や経営に関する支援等も提供されることが多い。インキュベータとは、英語で孵化器の意味。
- 10 スタートアップ：p21の脚注参照。



政策2
中心市街地

魅力と賑わいのある 中心市街地の創出



現状と課題

- 中四国のゲートウェイとしての役割を担う岡山市の中心市街地は、商業・業務・集客施設やコンベンション¹施設等が集積するJR岡山駅周辺エリアと、歴史・文化資産が集積する旧城下町エリアの2つの核で形成されており、それぞれのエリアが固有の魅力が高めるとともに、西川緑道公園や県庁通り等で両エリアをつなぐ魅力ある都心空間づくりを進めています。これらの取組を面的に広げることにより、まちなか全体の魅力と賑わい、回遊性の向上を図っていく必要があります。
- まちなかの魅力と賑わいを楽しみながら回遊するためには、誰もが安全で快適に移動できることが重要であるものの、自動車の利用は依然として多いことから、徒歩や自転車、公共交通による移動を前提とした、人中心の交通体系を確立していく必要があります。
- 商店街等では、空き店舗の増加や非店舗化が進行し、顧客を呼び込む力が低下しているほか、経営者の高齢化に伴う事業承継問題も生じています。一方、近年、中心市街地では定住人口が増加傾向にあるほか、岡山芸術創造劇場の整備、複数の再開発事業の動きもあることから、これを誘客の好機と捉え、独自の活性化策に主体的に取り組む商店街等を後押しし、中心市街地の魅力や集客力の向上につなげることが求められています。
- 近年、市街地再開発事業等、活発な市街地再生の動きにより、人口の都心回帰の動きもみられますが、依然として駐車場等の低・未利用地²が多く散在しており、全体として土地の高度利用³と都市機能の更新が進んでいません。民間活力をいかしながら、高次都市機能⁴や居住機能の充実・強化を図る必要があります。

岡山市の中心市街地イメージ図



施策1

歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり

- 歴史・文化資源が集積する旧城下町エリアにおいて、伝統文化と新たな文化が融合し、賑わいとゆとりの感じられる魅力的なエリアを創出するため、エリアを南北に通る商店街や旭川河畔といった歩行軸、文化交流軸を踏まえつつ、烏城公園（石山公園地区）や旭川おしろみちの再整備、新たな文化と賑わいの拠点となる岡山芸術創造劇場の整備をはじめとする各種取組をハード・ソフト両面からエリア俯瞰的に展開します。
- 県庁通りでは、道路空間の利活用に向けた組織やルールづくりとともに、沿道の魅力向上を図るため、空き店舗や空き地の有効活用による取組を官民連携で進め、それらを面的に拡げていくことにより、さらなるまちなかの賑わい創出や回遊性の向上を図ります。また、西川緑道公園周辺での質の高いイベントや歩行者天国等を継続的に開催し、市民との協働により、まちなかの賑わいを創出します。
- 都市生活に憩いと潤いをもたらす水と緑の空間づくりのため、中心市街地の街路樹や都市公園樹木のボリュームアップや質の向上による再生を進めることによって、春は新緑、秋は紅葉など、まちなかで季節の移り変わりが感じられるような魅力ある都市空間の形成を図ります。

施策2

賑わいにつながる回遊性の向上

- まちなかの回遊性の向上に向けて、県庁通り等で安心して楽しく歩ける道路空間づくりを進めるとともに、自転車走行空間や駐輪場の整備等により自転車を安全・快適に利用できる環境づくりを進めます。
- まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性の向上を図るため、路面電車の岡山駅前広場への乗り入れや延伸、環状化等を行います。乗り入れに伴う電停の駅前広場の移設により、公共交通の連携強化を図るとともに、延伸、環状化については、大雲寺前電停から岡山芸術創造劇場を經由して西大寺町電停までの区間について、できるだけ早期の実現に向けて取り組みます。
- 中四国のゲートウェイとしての役割を担う岡山市にふさわしい利便性の高い魅力的な空間を形成するため、路面電車の岡山駅前広場への乗り入れにあわせて、岡山らしさが感じられるように後楽園に見立てたデザイン計画を取り入れた駅前広場を整備します。

施策3

魅力的な商店街の振興

- 商店街が行う店舗誘致活動、集客イベントをはじめとした来街者の誘導及び販売促進・顧客獲得に向けた取組、安全・安心で快適な商業空間の創出に向けたアーケードや防犯設備等の基盤整備、外部団体との連携による新たな商店街の賑わいづくりなどに対する支援により、商店街の魅力を高め、地域経済の活性化につなげます。

施策4

高次都市機能の充実・強化

- 様々な人が住み、交流する賑わいの空間として、商業・業務、教育・文化、医療・福祉、コンベンション等の高次都市機能の集積と利便性の高い居住空間の創出を促進するとともに、土地の集約化⁵や高度利用を図り、岡山の顔にふさわしいまちづくりを重点的に進めます。
- このため、都心を構成するエリアごとに求められる機能を備えた賑わいの核となるような市街地再開発事業の促進をはじめ、総合設計制度⁶や高度利用地区等での容積率⁷の割増制度を有効活用した民間開発の誘導により、都市機能の更新と良好な都市環境の創出を図ります。

用語解説

- 1 コンベンション：p5の脚注参照。
- 2 低・未利用地：適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間に渡り利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況など）が低い「低利用地」の総称。
- 3 土地の高度利用：一定以上の水準で道路等の公共施設が整備された土地で、有効な空き地や一定以上の敷地規模の確保等により、良好な市街地環境を形成し、土地を効率的に利用すること。
- 4 高次都市機能：p9の脚注参照。
- 5 土地の集約化：不整形に散在する小規模な低・未利用地を一つにまとめ、より有効な土地活用を図ること。
- 6 総合設計制度：都市計画で定められた制限に対して、建築基準法で特例的に緩和を認める制度で、交通、安全、防火、衛生等の点で支障がなく、市街地の環境整備に資すると認める建築物について、容積率や高さの制限に特例許可を与えるもの。
- 7 容積率：敷地面積に対する建築物の延べ面積の割合。

指標名	基準値 R1	目標値 R7
中心市街地の歩行者通行量※ 上段：平日 下段：休日	4,324人 5,654人 (H29)	4,400人 5,700人
JR岡山駅乗降客数(1日当たり) ※	13.9万人	14.3万人

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標のため、前期中期計画の目標値を引き続き設定

施策1 歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり

■旧城下町エリアの賑わいづくりの推進 市民生活局 都市整備局

- 市民の文化芸術の鑑賞や活動の拠点である岡山市民会館・市民文化ホールに替わる新しい文化芸術施設「岡山芸術創造劇場」の整備 [再掲]
- 「旭川かわまちづくり計画」に基づき、旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川おしろみちの整備や烏城公園(石山公園地区)の再整備等
- 市民、事業者、NPO⁸、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり

■歩いて楽しい道路空間創出事業 都市整備局

- 県庁通りにおいて、官民連携の道路空間の利活用に向けた組織やルールづくり、空き店舗や空き地の有効活用による取組
- まちなかの賑わい創出や回遊性の向上を官民連携により面的に拡げる取組
- 県庁通りにおける賑わいの創出や回遊性向上をめざし、「車中心」から「人優先」の安全で快適な「歩いて楽しい」道路空間の再構築
- 商店街等における官民連携の道路空間の利活用に向けた取組

■西川魅力にぎわい創出事業 都市整備局

- 西川パフォーマー⁹等との協働による西川緑道公園の特色をいかした定期的なイベントの開催
- 西川緑道公園筋(平和橋～桶屋橋)における歩行者天国の定期開催による賑わいづくり
- パークマネジメント¹⁰による西川緑道公園の魅力の向上

■緑のボリュームアップ事業 [再掲] 都市整備局

- 緑化推進重点地区における公共施設の植樹
- 公共施設における緑のカーテン¹¹設置の推進

施策2 賑わいにつながる回遊性の向上

■歩いて楽しい道路空間創出事業【再掲】 都市整備局

- ・県庁通りにおいて、官民連携の道路空間の利活用に向けた組織やルールづくり、空き店舗や空き地の有効活用による取組
- ・まちなかの賑わい創出や回遊性の向上を官民連携により面的に拡げる取組
- ・県庁通りにおける賑わいの創出や回遊性向上をめざし、「車中心」から「人優先」の安全で快適な「歩いて楽しい」道路空間の再構築
- ・商店街等における官民連携の道路空間の利活用に向けた取組

■自転車先進都市の推進【一部再掲】 都市整備局

- ・道路状況に応じた自転車走行空間の整備
- ・放置自転車の解消に向けた駐輪場の整備や、放置禁止区域の指定・拡充、指導・啓発の実施
- ・コミュニティサイクル「ももちゃり」¹²の利用促進等

■まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上 都市整備局

- ・路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ及びネットワーク化に向けた取組の推進
- ・バスロケーションシステム¹³等の案内情報の充実等

施策3 魅力的な商店街の振興

■商店街等地域商業の活動への支援 産業観光局

- ・商店街等が行う商店街活性化に向けた取組や、地域商業の活性化に向けた取組への支援
- ・市内中心部の顧客吸引力や商業力等を計るために必要な各種調査の実施
- ・商店会連合会が主催する魅力的なイベントの開催や情報発信、調査研究事業等への支援

施策4 高次都市機能の充実・強化

■土地利用の適正誘導(高次都市機能の充実・強化)【一部再掲】 都市整備局

- ・立地適正化計画に基づく都市機能や居住の誘導区域への誘導
- ・総合設計制度や高度利用地区等の容積率の割増制度を活用した民間開発の誘導
- ・容積率の在り方や大街区化¹⁴など土地の集約化、高度化、都市環境の改善を誘導する施策の検討

■市街地再開発事業の促進 都市整備局

- ・市街地再開発組合等が施行する再開発事業に対する、良好な都市環境や賑わいを創出するための助言・指導と補助金の交付
- ・市街地再開発事業等を検討する初動期の地区権利者が組織する研究会等の自主的なまちづくり活動への支援

用語解説

- 8 NPO：p5の脚注参照。
- 9 西川パフォーマー：西川緑道公園で、賑わいづくりにつながる自主的なイベントを行う演技者等。イベント等の企画を市が認定することで、「西川パフォーマー」として登録される。
- 10 パークマネジメント：公園の特性や利用者のニーズに対応した公園の利活用を進めるため、行政主導ではなく、市民、NPO、企業等と連携して、公園の整備や管理、運営を行う手法。
- 11 緑のカーテン：アサガオやゴーヤ、ヘチマなどのツル性植物を建築物の壁面を覆うように育てて、緑化を行うもの。
- 12 コミュニティサイクル「ももちゃり」：まちなかに多数の自転車貸出・返却場(ポート)を配置し、いずれのポートでも自転車の貸出、返却ができる自転車の共同利用システム。「ももちゃり」は、岡山市におけるコミュニティサイクルの愛称。
- 13 バスロケーションシステム：バスの車載器のGPS機能により、車両の現在位置を把握し、インターネットや携帯電話などを通じて、利用者に路線バスの運行状況やバス停への接近情報などを表示・提供するシステム。
- 14 大街区化：土地の有効高度利用を進めるため、複数の街区に細分化された土地を集約すること。敷地を統合して一体的に利用するだけでなく、街区を構成する区画道路の配置や構造を再編し、良好な都市環境を形成することが可能となる。



政策3
農林水産業

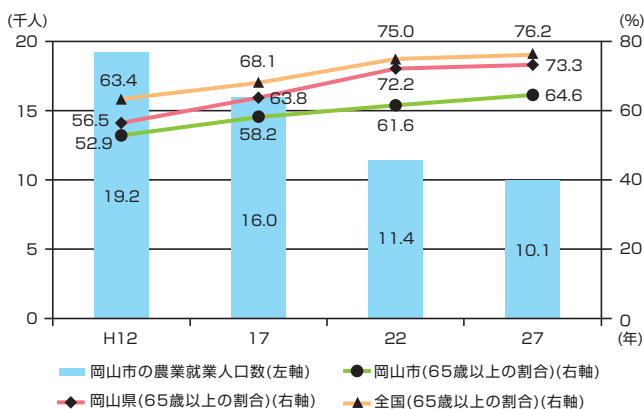
多彩で活力ある 農林水産業の振興



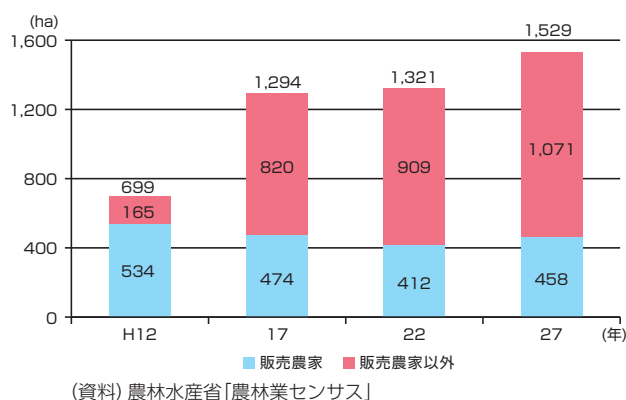
現状と課題

- 岡山市では、多様な地形、充実した農業用施設、災害が少ない恵まれた気候風土のもとで、果樹、穀物、野菜等の多彩な農作物が多様な農業主体によって生産されており、総農家戸数が全国第5位(平成27年)であるなど、全国有数の農業都市です。また、白桃やマスカット、ピオーネ等の果物は、市場から高い評価を得ており、都市ブランドの一つになっています。
- しかし、農業就業人口は平成17年から平成27年の10年間で約4割減少し、農業就業人口に占める65歳以上の割合は7割(平成27年)を超え、農業の担い手不足や高齢化が進んでいます。このような中、農業を持続的に発展させるためには、専業農家をはじめ、意欲ある農業者が「儲かる農業」を実現していくことが重要であり、担い手の確保・育成、農地の集積・集約¹による経営の効率化、6次産業化²等による高付加価値化等を推進し、農業を継続できる環境づくりと競争力の強化に取り組んでいく必要があります。
- 農業者の減少や高齢化に伴い、広大な農地とこれを支える多数の農業用施設を維持していくことが困難になりつつあります。多様な農業の維持・拡大を図るためには、これらの生産基盤の確保・強化に計画的に取り組むことにより、農業の生産性を高める必要があります。また、景観の保全、防災機能の維持、伝統・文化の継承など、農地が持つ多面的機能を発揮していくことが重要です。このため、農業者だけではなく、地域住民も巻き込んだ集落機能の再生・強化に取り組み、農村地域の活性化を図ることが求められています。
- 岡山市は農産物の生産地と消費地が近接する地産地消に適した都市であり、市民の地場産野菜・果物への関心をさらに高め、市民はもとより、商工業者や旅行者等にも農業との関わりを深めてもらうことにより、地産地消を推進し、岡山市産農産物のさらなる消費拡大につなげていく必要があります。
- 市街地近郊の森林は、市民の憩いの場として利用されており、豊かな森林を守るため、森林保全の担い手である林業者の活動への支援が求められています。また、近年の海域環境の変化に伴い、主要水産物であるノリの生産量の変動や品質低下が起きており、状況の改善を図るとともに、漁船漁業や内水面漁業³の漁獲高の減少に対処していく必要があります。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、移動制限やイベントの中止・規模縮小等が行われ、外食需要が減少しています。また、感染予防の観点から、人々の生活様式に変化が生まれ、食を取り巻く環境が大きく変化しています。これらの変化が農林水産物の生産・流通に与える影響を引き続き注視しながら、必要な支援を図っていく必要があります。

農業就業人口の推移及び65歳以上の割合



耕作放棄地⁴面積の推移



施策の方向性

施策1

意欲ある農業者による多様な生産の選択と拡大

- 岡山市就農サポートセンターの活用を促進するほか、就農相談会等による新規就農相談、就農への不安解消等を目的とした短期体験や関係機関と連携した実践的な農業技術や経営知識習得のための研修実施等、就農希望者の状況に応じたきめ細かな対応を行うことにより、県内外からの新規就農者の増加を図ります。
- 関係機関と連携し、経営改善に取り組む意欲ある農業者による近代化施設・機械や新たな栽培技術等の導入を支援し、多様な生産の拡大や農業所得の向上を通じた地域農業の活性化を促進します。また、農地中間管理機構⁵等を通じて農地の流動化を促進するとともに、地域での話し合いを支援し、人・農地プラン⁶の実質化を推進するなど、今後地域の中心となり、経営規模の拡大をめざす農業者への農地集積・集約を進めます。
- 集落営農⁷や農業法人化等、農業現場を支える多様な人材の活躍を支援することを通じて農業経営力の強化を図ります。また、市内産の品質の高い農林水産物について、生産者団体等と連携して知名度を高めるPR活動等を実施するとともに、加工食品等を含め、6次産業化等にチャレンジする生産者への支援を推進し、販路開拓や消費拡大、ブランド力の強化を図ります。

施策2

生産基盤の整備と農村の再生・強化

- 国や県と連携し、農地の大区画化⁸や排水改良等を通じた農業生産性の向上に取り組むとともに、老朽化した農業用水路、ため池等の農業用施設の改修や適時適切な補修・長寿命化対策等を推進します。また、無秩序な農用地のかい廃⁹を防止し、農用地の保全、生産性の高い集団優良農地¹⁰の確保に努めます。
- 地域住民が共同で行う農地・農業用施設の保全活動や地域資源をいかした景観整備等、地域活性化に向けた取組を支援します。
- 近年、増加傾向にある有害鳥獣による農作物被害を防止するため、実態調査の実施、関係団体や地域との協働による啓発、防護、捕獲等の活動を通じて、有害鳥獣に強い地域づくりを推進します。

施策3

地産地消で市民が支え誇れる農業都市づくり

- 農業祭の開催による販売、飲食等の商工業者との連携や卸売市場でのイベント開催、自家農産物を直接販売する農業者の情報提供等を通じて農業者と消費者の交流や、市内産農産物の消費拡大を図ります。また、子どもを対象とした農作業体験をはじめとする活動を推進することで、食の魅力の情報発信や地元農産物への愛着を図ります。
- 岡山市サウスヴィレッジなど都市と農村との交流施設の利用促進を図ります。また、観光農園等の資源の掘り起こしや、農村風景等を巡る農村観光等を通じて、旅行者も含めた都市と農村の交流を促進します。

施策4

森林の活用と水産業の振興

- 林道や森林公園等の維持管理を行い、市民に憩いとレクリエーションの場を提供します。また、森林経営管理制度¹¹等を推進し、森林所有者の経営管理を支援するとともに、森林の適正な管理に努めます。
- ノリ養殖の設備導入に対する支援等により生産基盤の強化を図るとともに、水産関連団体等による岡山産ノリの消費拡大や知名度向上に向けた取組を支援します。また、稚魚の育成や放流等により漁業資源の回復を図るとともに、海水への栄養塩供給や海底環境改善をめざした海底耕うん作業、海岸清掃など漁場環境の保全活動を推進することにより漁獲量の安定化を図ります。

用語解説

- 1 農地の集積・集約：集積とは、農地の利用権を特定の農業の担い手に集めること。集約とは、特定の担い手が利用権を持つ農地が面的にまとまった状態にあること。
- 2 6次産業化：p27の脚注参照。
- 3 内水面漁業：河川・湖など淡水における漁業。
- 4 耕作放棄地：以前耕地であったもので、過去1年以上作物が栽培されず、かつ数年以内に再び耕作される予定のない土地。
- 5 農地中間管理機構：農地を貸したい人から農地を借受け、できるだけまとまった形で農地利用の集積・集約化をめざす担い手に貸し付ける事業を行うために各都道府県に設けられた組織。
- 6 人・農地プラン：農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化し、市町村により公表するもの。
- 7 集落営農：集落を単位として、生産行程の全部又は一部を共同で取り組むこと。
- 8 大区画化：畦道の除去やほ場整備により、農地の形を揃え、より大きな区画にすること。
- 9 農用地のかい廃：田又は畑を、農作物の栽培が困難な他の地目に変更すること。
- 10 集団優良農地：一団のまとまりのある良好な営農条件を備えた農地。
- 11 森林経営管理制度：適切な経営管理が行われていない森林の経営管理を、林業経営者に集積・集約化するとともに、それができない森林の経営管理を市町村が行うことで、森林の経営管理を確保し、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図る制度。

指標名	基準値 R1	目標値 R7
新規就農者数	34人	50人
担い手への農地集積率	38.1%	50%
多面的機能支払制度取組地区数	69地区	80地区
岡山産の野菜・果物等の購入を意識している市民の割合	59.5%	70%

施策1 意欲ある農業者による多様な生産の選択と拡大

■ 農業の担い手の確保・育成事業 産業観光局

- ・就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進
- ・新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金の交付
- ・UIJターン¹²園芸農業者への支援

■ 農業経営力向上対策事業 産業観光局

- ・水田農業の大規模化、地域振興作物¹³の産地化など、水田フル活用に資する取組への支援
- ・園芸作物や米・麦・大豆等の生産性向上に必要な機械導入や設備整備等への支援
- ・担い手への農地集積に対する支援

■ 農産物販路拡大支援事業 産業観光局

- ・大規模な食品見本市へ出展する農業者への補助
- ・首都圏等での地場農産物のPR活動
- ・農業者団体等による農産物のブランド化への取組の支援

施策2 生産基盤の整備と農村の再生・強化

■ 農業農村整備事業 産業観光局

- ・農地の大区画化、排水改良、農業用施設の改修や補修・長寿命化対策の実施

■ 土地改良区等支援事業 産業観光局

- ・主要な農業用施設の補修・維持管理を担う土地改良区や地域共同体等の組織、人材に対する支援

■ 優良農地確保事業 産業観光局

- ・農用地のかい廃の防止や保全、生産性の高い集団優良農地の確保に向け、農業振興地域整備計画に基づき、農用地等として利用すべき土地を農用地区域として設定

■ 農村集落活性化事業 産業観光局

- ・中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度等の活用による水路の泥上げや農道の砂利補充等の農地維持に向けた地域の共同活動、及び中山間地域等¹⁴における耕作放棄地の発生防止や農業生産活動の維持を図る取組に対する交付金の交付

■ 農作物被害対策事業 産業観光局

- ・イノシシ等有害鳥獣の駆除、駆除班活動への支援、侵入防止柵の整備推進
- ・岡山市鳥獣被害対策実施隊による、農業者等に対する鳥獣被害防止のための啓発活動等の実施
- ・有害鳥獣による農作物被害を防止するための実態調査の実施

施策3 地産地消で市民が支え誇れる農業都市づくり

■ 地産地消推進事業 産業観光局

- 地場農産物の購買意欲向上と、農業者商工業者の連携促進に向けた農業祭の開催
- 農業者と消費者の交流及び消費拡大に向けた地産地消イベント等の開催
- 市内産の米の消費拡大のための料理教室等の開催
- 小・中学校が中心となり実施する、地域での農業体験事業等の活動への支援

■ 都市農村交流施設・資源活用事業 産業観光局

- 市民農園（牧山クラインガルテン）や農業公園（岡山市サウスヴィレッジ）を活用した都市農村交流の促進
- 農業・農村体験ができる施設等の地域資源をいかした農村観光の促進

■ 市場活性化事業 市場事業部

- 市民イチバデーや夏休み親子市場勉強会、いちば大学、黄二ラ祭りなど、市場関係者等による食育や販売促進の一環として市場内で開催されるイベント等での旬の食材の試食・食べ比べによる岡山産食材の紹介及び魅力発信

施策4 森林の活用と水産業の振興

■ 林業振興事業 産業観光局

- 林業者の移動・運搬道路及び地域住民の生活道路の保全を目的とした林道の維持管理
- 市民に憩いとレクリエーションの場を提供する森林公園の維持管理
- 森林経営管理制度を活用した森林の適正な経営管理

■ 水産業振興事業 産業観光局

- ノリ養殖の安定した生産と品質向上に向けた高性能な機械・設備の導入への支援
- 漁業資源、漁獲量の回復を目的とした種苗放流¹⁵や漁場環境の保全活動への支援

用語解説

12 UIJターン：p41の脚注参照。

13 地域振興作物：「岡山市地域水田フル活用ビジョン」において、産地化や生産拡大等を図ることを定めた作物。

14 中山間地域等：p3の脚注参照。

15 種苗放流：稚魚を海や河川などへ放流すること。



政策4
観光・交流

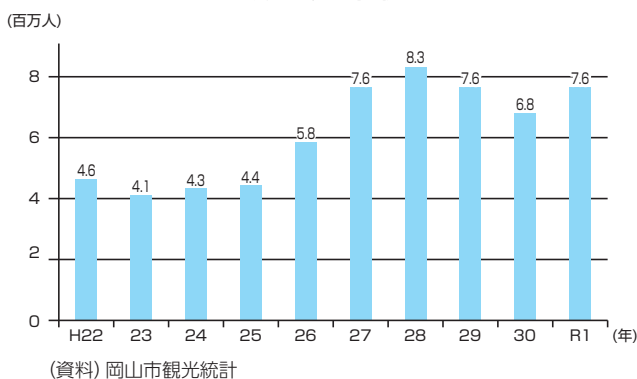
国内外の人を惹きつける 観光・交流の推進



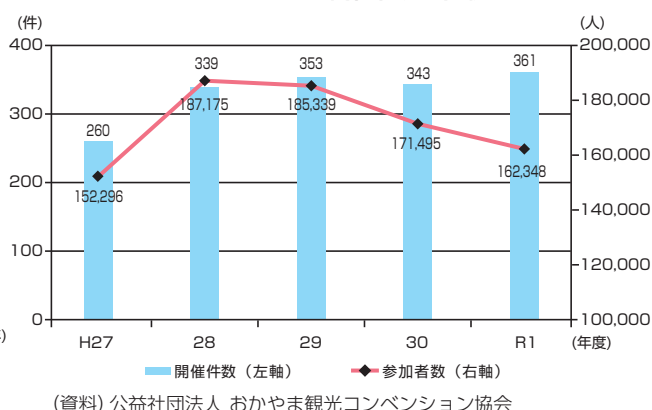
現状と課題

- 岡山市は、中四国における広域交通の結節点であり、豊富な歴史・文化資源、高品質の果物や瀬戸内海の水産物等を用いた食文化など、多彩な観光資源に恵まれています。しかし、全国1,000市区町村を対象とした「地域ブランド調査2020」では、政令指定都市20都市の中で魅力度15位、観光意欲度14位であり、観光客数は平成28年をピークに近年横ばいで推移しているなど、その交通利便性の高さや地域資源を観光客の宿泊・滞在に十分いかしきれていません。また、人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症の流行による国内外の観光客の落ち込みや、新しい生活様式¹の実践による観光需要の変化等、観光を取り巻く環境は大きく変化しています。
- こうした環境の変化に対応し、観光の目的地として選ばれ、宿泊客の増加や滞在時間延長につなげるため、岡山市固有の観光資源に磨きをかけるとともに、近隣自治体との連携による魅力的な観光ルートの創出や情報発信力の強化が課題となっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ外国人観光客の誘致については、各国の観光市場の動向を的確に把握・分析し、プロモーションや受入体制の充実・強化を進めていく必要があります。
- 医療・福祉関連産業や学術研究機関の集積、岡山コンベンションセンターや岡山県総合グラウンドの立地の良さ等により、国際会議やスポーツ大会を含めたコンベンション²開催件数は増加傾向にあります。一方、オンライン会議の普及等、コンベンションを取り巻く環境が大きく変化する中で、岡山市の都市イメージを国内外に発信できるコンベンションのさらなる誘致・開催に向けて、岡山大学をはじめとした地元主催者との関係を一層強化するとともに、多様な誘致対象や開催形態への対応等に取り組んでいく必要があります。
- 全国的な岡山市の認知度や魅力度は、必ずしも高いとは言えない状況にあります。このため、岡山固有の歴史・文化に由来し、都市イメージとして広く浸透している「桃太郎」を積極的に活用することにより、岡山市の認知度や好感度の向上を図り、観光誘客につなげていくためのプロモーションを戦略的に展開していく必要があります。
- 温暖な気候や自然災害の少なさ等を背景に転入超過の状態を保っていましたが、東京圏や大阪圏への転出が顕著となり、近年転出超過となっています。今後は、岡山市の魅力が十分に伝わる情報発信の強化など、効果的な移住・定住支援施策の再構築を進めていく必要があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による人々の意識や価値観、働き方の変化がみられており、こうした社会環境の変化にも対応していくことが求められています。
- 県内出身の若者や県外から市内に来ている大学生等の定着を進めるため、そのニーズの把握を行い、街の魅力を高め、岡山への就職を進める必要があります。また、将来的な移住者の増加につながることが期待されている関係人口³の創出・拡大への取組を進めていく必要があります。

観光客数の推移



コンベンション開催状況の推移



施策1

広域的な観光・インバウンドの推進

- 岡山連携中枢都市圏⁴の自治体や瀬戸内海でつながる地域と連携し、テーマやストーリー性を重視した観光ルートの開発や情報発信等により、地域全体の魅力向上を図ります。
- 観光の目的地として選ばれ、瀬戸内海を中心とした広域周遊観光のベース宿泊地となることをめざし、日本遺産⁵をはじめとする歴史・文化資源や豊富な農作物等の岡山市固有の観光資源の魅力を高めつつ、観光客の利便性向上や快適な環境整備を行うとともに、観光体験メニューや食の開発、観光ガイド等によるおもてなし機運の醸成等により、宿泊地としての魅力向上と新たな観光客やリピート客の獲得を図ります。
- 大規模改修を行う岡山城は、天守閣の展示リニューアルや、多目的に利用できるフロアを設けるなど、多様なニーズに対応できる整備を行います。
- 東アジアや欧米に加え、近年観光客が増加している東南アジア等からの外国人観光客の受入体制を整備し、情報発信を行うとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックや2025年日本国際博覧会等の大規模国際イベントの機会を活用することにより、インバウンド⁶を推進します。

施策2

産官学連携によるコンベンションの誘致

- 岡山市、おかやま観光コンベンション協会、岡山コンベンションセンターに加えて、連携・協力協定を締結した岡山大学や岡山商工会議所等の産官学が連携し、誘致・開催体制をさらに強化するとともに、多様な開催形態への対応を強みとして、様々なコンベンション主催者へ機を逃さず情報提供することにより、地元でのコンベンション開催を促進します。
- 「ESD⁷に関するユネスコ世界会議」や「G20岡山保健大臣会合」開催の経験をいかし、国際会議の主催者となるキーパーソンとの関係強化や、様々なチャンネル⁸を活用した情報収集・セールスを展開し、国際会議の積極的な誘致に取り組むとともに、ユニークベニュー⁹の開発やおもてなしの強化等により受入体制の充実・強化を進めます。

施策3

戦略的なプロモーションによる都市ブランドの確立

- 「桃太郎のまち岡山」をキーワードに岡山市が持つ様々な魅力を発信し、認知度向上を図るため、海外や首都圏のマスコミ、旅行会社等への情報発信やファミトリップ¹⁰の実施等によるシティセールス¹¹活動、積極的なICT¹²の活用など、国内外に向けた効果的なプロモーションを戦略的に展開します。

施策4

移住・定住の促進

- 移住支援専用ウェブサイトの充実などにより、移住先としての岡山市の魅力や特色を情報発信するとともに、移住希望者の住まい・就職・就農等の多岐にわたるニーズに沿ったきめ細かな情報を提供し、UIJターン¹³を促進します。
- 民間の移住者支援団体や就職・転職支援業界、不動産業界等で構成する「岡山市移住・定住支援協議会」と連携し、移住相談・支援、移住後の支援体制を充実します。
- 岡山県や岡山連携中枢都市圏の市町等と協力し、移住相談会やセミナー等を共同で開催することにより、圏域への移住・定住を促進します。
- 若者の岡山への定着を進めるため、まちづくりへの参加や地域とつながる仕組みづくりを構築するとともに、市内企業等の情報提供を行います。
- 岡山市の魅力や特色を首都圏等へ情報発信し、関係人口の創出・拡大を図ります。

用語解説

- 1 新しい生活様式：p27の脚注参照。
- 2 コンベンション：p5の脚注参照。
- 3 関係人口：p27の脚注参照。
- 4 岡山連携中枢都市圏：p29の脚注参照。
- 5 日本遺産：p21の脚注参照。
- 6 インバウンド：訪日外国人旅行。
- 7 ESD：p7の脚注参照。
- 8 チャンネル：経路、手段。ここでは人脈や各種メディアの意味。
- 9 ユニークベニュー：歴史的建造物、文化施設や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場のことを指す。誘致に大きな効果を発揮する各都市のユニークベニューは日本においても積極展開が求められている。
- 10 ファミトリップ：観光地などの誘客促進のために、旅行会社等を招いて行う現地視察旅行。
- 11 シティセールス：市の魅力ある資源や充実した施策を市外にアピールし、売り込むこと。
- 12 ICT：p3の脚注参照。
- 13 UIJターン：p41の脚注参照。

指標名	基準値 R1	目標値 R7
観光客数※	7,575千人	9,487千人
コンベンション参加者数※	162,348人	207,000人
移住定住支援により移住した人数	30人	90人

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標のため、前期中期計画の目標値を引き続き設定

施策1 広域的な観光・インバウンドの推進

■観光資源の魅力アップ事業 産業観光局

- ・岡山城と岡山後楽園との連携による烏城灯源郷と幻想庭園との同時開催等による、宿泊客の増加や滞在時間の延長の促進
- ・倉敷市等他都市との連携を通じた吉備路をはじめとする広域周遊観光の促進
- ・瀬戸内海沿岸の他都市等と連携した情報発信や、岡山をベース宿泊地とする広域周遊観光等の促進
- ・日本遺産をはじめとする歴史・文化資源を活用した情報発信、受入体制の整備等による地域への愛着と誇りの高揚、観光資源としての魅力の向上
- ・地域文化の創造を目的とした郷土に根付いた芸能の振興と民謡の普及促進

■岡山まつり開催事業 産業観光局

- ・うらじゃに代表されるおかやま桃太郎まつり、国の重要無形民俗文化財¹⁴に指定された西大寺会陽など、岡山らしさを味わえるまつりや滞在を促すイベントの充実等を通じた岡山の魅力の発信

■観光施設の活用事業 産業観光局

- ・展示リニューアル等の大規模改修を行う岡山城や市内各地の観光施設等の適切な維持管理、有効活用等による観光客の満足度向上につながる受入体制の整備

■おかやま観光情報発信事業(インバウンド推進) 産業観光局

- ・台湾、中国、韓国などの東アジアやフランスをはじめとした欧米、東南アジアなど、ターゲットを絞ったプロモーションの実施
- ・真庭市、吉備中央町との共同による東南アジア方面からのムスリム(イスラム教徒)観光客の受入体制の整備
- ・外国人団体旅行者への宿泊費の助成

施策2 産官学連携によるコンベンションの誘致

■コンベンション誘致対策事業 産業観光局

- ・コンベンション開催補助金の交付(国際会議加算、託児サービスを含む)をはじめとする各種コンベンション開催支援
- ・情報収集、セミナーの開催、多様なコンベンション主催者へのセールス等の誘致活動

施策3 戦略的なプロモーションによる都市ブランドの確立

■ 都市イメージの発信 市長公室

- 市ホームページや「桃太郎のまち岡山」Facebook等を活用した情報発信、市が実施するイベントや事業への「桃太郎のまち岡山」のネーミング・ロゴ・イメージキャラクターの活用等、全庁的な取組による都市イメージの発信

■ おかやま観光情報発信事業(シティプロモーション¹⁵) 産業観光局

- 「桃太郎」をテーマとした情報発信や観光誘客イベントの開催、観光素材の創出による観光客が楽しむことができる観光地づくりの推進

施策4 移住・定住の促進

■ 移住定住促進事業 市民協働局

- 移住支援専用ウェブサイトやFacebook等を活用した情報発信
- お試し住宅利用者に対する家賃補助及び空き家情報バンク登録物件の情報提供
- おかやまUIJターン就職支援センターの開設運営及び就職・転職活動に対する交通費補助
- テレワーカーの移住への支援
- 岡山県や岡山連携中枢都市圏の市町等との協力による移住相談会やセミナーの開催
- オンライン移住相談の実施

■ 雇用対策等事業【再掲】 産業観光局

- 新規学卒者やUIJターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催、大学生等が市内企業へ関心を高めるための交流事業等
- 新しい生活様式に対応する新入社員採用活動への支援
- 市内企業の企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への提供による情報発信支援

■ 学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト【再掲】 政策局

- 学生が地域や市内企業等との協働により実施する地域課題の解決等に資する活動への支援

用語解説

- 14 重要無形民俗文化財：国民の生活の推移を理解するために欠くことのできない、衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術のうち、国が重要と判断したもの。
- 15 シティプロモーション：市の魅力ある資源や充実した施策を市内外にアピールし、人材や物財、資金、情報などの資源を市内部に取り込むことにより、市の魅力を一層向上させる一連の戦略的活動。



政策5
都市・周辺地域

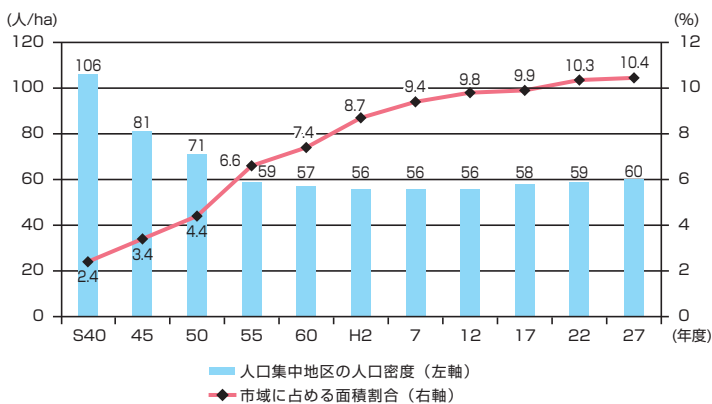
周辺地域の拠点機能の 充実と活性化



現状と課題

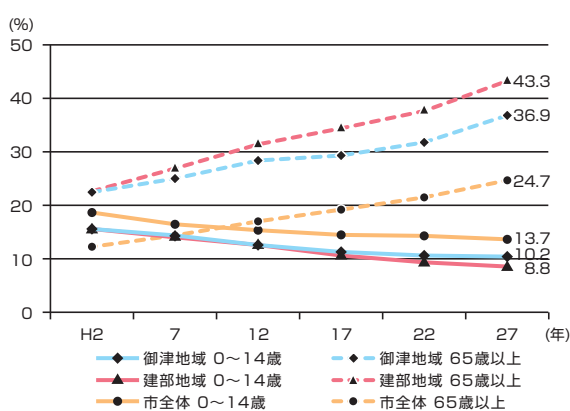
- 岡山市では、市街地の縁辺部や幹線道路の沿道における市街化の進行により、低密度な市街地が広がっています。今後、人口減少や少子高齢化が進行する中で、生活サービス機能¹の低下、空き家や駐車場等の低未利用地の増加等、市民生活の質や都市の活力の低下が懸念されています。
- 市街化区域²には、依然として多くの低未利用地が残存していることから、既存市街地の土地の有効利用や環境改善等が課題となっています。また、市街化調整区域³では、市街地周辺部で宅地開発が進行しており、都市と自然が調和した住みやすさを将来に確保していくためにも、低密度な市街地の拡大を抑制するなど、人口や都市規模に応じた適正な土地利用を推進していく必要があります。
- 市民の生活に必要な生活サービス施設は、居住人口の分布などにあわせて立地しています。そのため、今後の人口減少によって、これらの施設の維持が困難になる可能性があります。人口減少や高齢化が進行する中においても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、各地域の拠点や公共交通沿線などに居住を緩やかに集積していくことによって、医療、福祉、商業等の都市機能を維持する必要があります。
- 周辺地域には、歴史・伝統・文化、景観、食等、それぞれの地域固有の資源が存在し、地域の多様性が岡山市の都市特性であり魅力の一つとなっています。中山間地域等⁴の周辺地域において、それぞれが持つ固有の地域資源をいかした取組を、市民をはじめ、NPO⁵や企業等の多様な主体と協働して進めることにより、魅力と活力のある地域を創出していくとともに、医療、教育、公共交通等の日常生活サービス機能やコミュニティ機能を維持していくことが課題となっています。

人口集中地区⁶の人口密度と対市域割合の推移



(注) 現在の市域に組替え
(資料) 総務省「国勢調査」

中山間地域の人口割合の推移



(資料) 総務省「国勢調査」

施策1

活力ある拠点の形成と適正な土地利用の推進

- 「岡山市立地適正化計画」に居住や都市機能を誘導する区域を定め、一定の人口密度を維持するとともに、必要な都市機能を確保し、それらの区域を公共交通ネットワークで結ぶことにより、人口減少・超高齢化社会においても、若年者から高齢者まで歩いて健康に暮らすことができるなど、生活の質が高く活力あふれる持続可能な都市づくりを進めます。
- 市街化調整区域については、「市街化を抑制する」という市街化調整区域の理念のもと、優良な農地や自然環境等の保全を原則として、市街化区域縁辺部等での開発の進行を防止するとともに、中山間地域等の周辺地域においては、集落活性化に資する取組について検討します。
- 「岡山操車場跡地整備基本計画」に基づき、防災拠点機能を備え、多くの人が交流できる賑わいの拠点として岡山西部総合公園(仮称)の整備を進めます。

施策2

周辺地域の活性化と交流の促進

- 中山間地域等の周辺地域において、経済・産業の振興、移住・定住による地域活性化、歴史・文化の継承や生活交通⁷等の生活機能サービスの維持・向上等の取組を地域振興基金も活用しながら促進します。また、市民をはじめ、NPOや企業等の多様な主体による、地域の課題解決や地域資源を活用した魅力ある地域づくりを支援します。
- 都市と農村との交流施設の利用促進、農業祭等でのイベント開催、自家農作物を直接販売する農業者の情報提供等を通じて農業者と消費者の交流、消費拡大を図るとともに、観光農園等の資源の掘り起こしや、農村風景等を巡る農村観光等を通じて、旅行者も含めた都市と農村の交流を促進します。

用語解説

1 生活サービス機能：日常的な買い物施設や一次診療を中心とした医療施設、銀行・郵便局等の金融機関など日常生活を支えるサービス機能。
 2 市街化区域：都市計画法に基づく都市計画区域のうち、市街地として積極的に開発・整備する区域で、既に市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。
 3 市街化調整区域：都市計画法に基づく都市計画区域のうち、市街化を抑制すべき区域。
 4 中山間地域等：p3の脚注参照。
 5 NPO：p5の脚注参照。
 6 人口集中地区：統計データに基づいて一定の基準により都市的地域を定めたもの。国勢調査の基本単位区等を基礎単位として、原則として人口密度1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内でお互いに隣接して、5,000人以上を有する地区のこと。
 7 生活交通：p11の脚注参照。

指標名	基準値 R1	目標値 R7
都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度	37.8%	39.3%
居住誘導区域内人口密度	58.4人/ha (H27)	59.6人/ha

施策1 活力ある拠点の形成と適正な土地利用の推進

■土地利用の適正誘導

都市整備局

産業観光局

- 都市計画法、農地法等の適正な運用及び都市計画マスタープラン⁸に基づく計画的な土地利用の推進
- 立地適正化計画に基づく都市機能や居住の誘導区域への誘導
- 公共交通施策等の関連施策と連携した、コンパクトでネットワーク化された都市づくりの推進

■岡山操車場跡地整備事業(健康・医療・福祉系施設導入区域)

保健福祉局

- 健康・医療の充実や賑わい創出に向けた施設整備・運営を行う民間事業者への定期借地方式⁹による土地の有償貸付け

■岡山西部総合公園(仮称)整備事業

都市整備局

- 多目的広場、芝生広場、見晴らしの丘等の配置による、健康増進及び賑わい創出に資する緑あふれる総合公園の整備
- 防災公園(広域避難場所、地域防災拠点)としての機能の整備

施策2 周辺地域の活性化と交流の促進

■ 地域振興基金活用事業 政策局 各局室

- ・ 経済・産業の振興、歴史・文化の継承や生活交通等の生活機能サービスの維持・向上
- ・ 地域住民をはじめ、NPOや企業等による地域課題の解決への取組や地域の産品等を活用した地域活力の創出などに対する支援

■ 地域おこし協力隊¹⁰事業 政策局 各区役所

- ・ 主に中山間地域等への人材の誘致及び地域住民との協力による地域活性化の促進

■ 農村集落活性化事業〔再掲〕 産業観光局

- ・ 中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度等の活用による水路の泥上げや農道の砂利補充等の農地維持に向けた地域の共同活動、及び中山間地域等における耕作放棄地¹¹の発生防止や農業生産活動の維持を図る取組に対する交付金の交付

■ 地産地消推進事業（農業者と消費者等の交流促進）〔一部再掲〕 産業観光局

- ・ 地場農産物の購買意欲向上と、農業者商工業者の連携促進に向けた農業祭の開催
- ・ 農業者と消費者の交流及び消費拡大に向けた地産地消イベント等の開催

■ 都市農村交流施設・資源活用事業〔再掲〕 産業観光局

- ・ 市民農園（牧山クラインガルテン）や農業公園（岡山市サウスヴィレッジ）を活用した都市農村交流の促進
- ・ 農業・農村体験ができる施設等の地域資源をいかした農村観光の促進

用語解説

- 8 都市計画マスタープラン：都市計画法第18条の2の規定に基づき策定するもので、都市づくりの将来像、土地利用の方針、都市施設や市街地整備の方針など、都市計画に関する基本的な方針を定めたもの。
- 9 定期借地方式：定められた契約期間で借地関係が終了し、その後の更新がない定期借地権を土地に設定し土地を貸すこと。貸した土地が必ず戻り、期間満了時の立退料も必要ないなど、地主は安心して土地を貸すことができる。
- 10 地域おこし協力隊：都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移した者が、地方自治体から「地域おこし協力隊員」としての委嘱を受け、地域で生活しながら、農林漁業の応援や住民の生活支援等、様々な地域協力活動を行うことで、その地域への定住・定着を図る取組。
- 11 耕作放棄地：p49の脚注参照。



政策6
交通

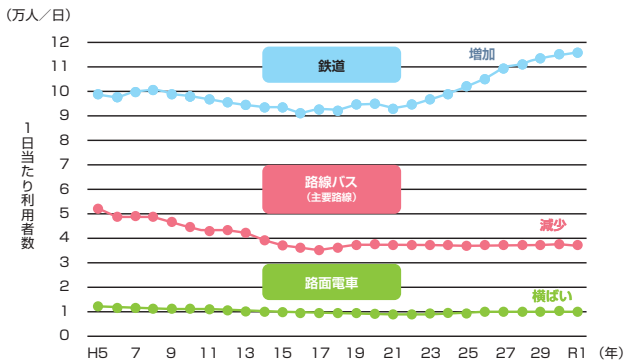
人と環境にやさしい 交通ネットワークの構築



現状と課題

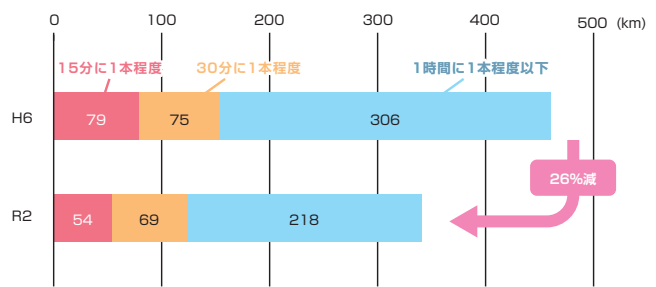
- 岡山市は、近畿と九州を結ぶ西日本の東西軸と山陰と四国をつなぐ南北軸のクロスポイントに位置しており、道路、鉄道、空路等の広域交通の要衝となっています。また、市内では、都心を中心に市街地が放射状に広がる都市構造に合わせて、道路、鉄道、バス等の交通体系も、都心から各地域の拠点に向けて放射状に発達しています。
- 一方、低密度な市街地が拡大していることにより、過度な自動車依存が進み、バスをはじめとする公共交通の衰退や温室効果ガス¹の排出等による地球環境問題など、様々な問題が生じています。そのため、過度に自動車に依存する都市構造から脱却し、バス、路面電車、鉄道等の公共交通を中心とした利便性の高い交通ネットワークを構築し、都心部と地域拠点を結ぶ連携軸を強化していく必要があります。
- 路線バスについては、重複区間での非効率な運行や過度な競争による都心部の運賃の低廉化等に伴う経営の悪化が問題となっています。また、路面電車は定時制、速達性、経路のわかりやすさに優れ、輸送力が高いことから、都心部における有効な交通手段としてネットワークを拡充する必要があります。
- 周辺地域においては、今後、さらなる人口減少に伴う公共交通利用者の減少により、公共交通が衰退する地域が拡大することが予想されます。また、高齢化が一層進行することにより、移動手段を持たない高齢者をはじめとする交通弱者への対応が必要になります。このため、買い物や通院等、日常生活に必要な交通手段を確保していくことが求められています。
- 多くの交通が都心部に集中し、都心周辺では著しい渋滞が発生しているため、流出入交通の分散・誘導や通過交通の排除により、路線バスを含め円滑な交通を確保する必要があります。また、市民が安心して利用できるよう、生活道路の整備など、生活者の視点に立った安全な道路づくりを進める必要があります。
- 温暖で晴れの日が多く地形が平坦な岡山市では、自転車利用が進んでいます。通勤・通学時の主たる交通手段が自転車である割合は高いものの、市民アンケートにおける自転車利用環境の満足度は低くなっており、安全・快適に自転車を利用できる環境づくりを進めていく必要があります。

路線バス利用者数の推移



(資料) 交通事業者各社提供

路線バスの運行区間延長



(資料) 岡山市担当課調べ

施策1

公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築

- 「岡山市地域公共交通網形成計画」に基づき、利便性の向上と経営の安定化の両方の視点から、バス路線の再編・運賃割引（高齢者・障害者）・都心の運賃適正化の3つの柱を「岡山市地域公共交通利便増進実施計画」に位置づけ、持続可能な公共交通の実現に向けた具体的な施策に取り組みます。
- 路面電車のネットワークの拡充（延伸・環状化等）を図るため、「岡山市路面電車ネットワーク計画」で短期に取り組むことに位置付けた大雲寺前電停から岡山芸術創造劇場を經由して西大寺町電停までの区間について、できるだけ早期の実現に向けて取り組みます。
- 都心と地域拠点を結ぶ連携軸における公共交通の利便性向上を図るとともに、周辺を含む沿線地域の活性化や観光振興を図ることを目的に桃太郎線LRT²化の取組を推進します。

施策2

地域における生活交通の確保

- 地域における日常生活に必要な交通手段を確保・維持するため、コミュニティバス³の運行経費への助成を行うとともに、交通事業者との連携により、利用促進に資する運行サービスの改善に取り組みます。
- 公共交通が身近になく、買い物や通院等の日常生活における移動が不便な地域では、地域住民及び交通事業者との連携により、地域特性に応じた生活交通⁴の導入について検討します。

施策3

自転車先進都市の推進

- 自転車利用ニーズ、道路状況に対応した自転車道・自転車レーン、自然や歴史資源を活用したサイクリングロード等、自転車で走り、楽しむことのできる環境を整備するとともに、駐輪場の整備等の放置自転車解消に向けた取組を進めます。
- コミュニティサイクル「ももちゃり」⁵の利用促進を図るとともに、継続的な運用を確保するため、現在の施設配置や運用方法等について検討を進めます。
- 自転車通行ルールや利用マナーについて、「岡山市自転車の安全で適正な利用を促進するための条例」が制定されたことを踏まえ、より一層関係機関との連携による指導・啓発を推進します。

施策4

道路ネットワークの充実・強化

- 地域高規格道路である美作岡山道路等の整備を通じて、広域的な交通ネットワークを強化するほか、物流拠点や、高速道路インターチェンジ、空港等の交通拠点へのアクセスを強化し、人や物の交流を促進します。
- 都心部やその周辺における渋滞を緩和し、路線バスを含め円滑な交通を確保するため、環状道路の整備やボトルネック交差点⁶の改良を実施します。また、中・外の環状線の整備により通過交通を排除し、環状線内の交通負荷の軽減を図ります。
- 地域拠点から都心へのアクセス利便性を高めるため、放射状道路の整備を進めます。

用語解説

1 温室効果ガス：p23の脚注参照。
 2 LRT：p27の脚注参照。
 3 コミュニティバス：自治体の技術面・費用面での支援のもとで、地域住民や事業者等が主体となって、計画・運行・運営するバス。
 4 生活交通：p11の脚注参照。
 5 コミュニティサイクル「ももちゃり」：p47の脚注参照。
 6 ボトルネック交差点：右折レーンがないなど、交差点の容量不足によって、著しい渋滞が発生している交差点。

指標名	基準値 R1	目標値 R7
自宅から都心や身近な拠点に公共交通で30分以内に行ける人口	30.3万人 (H27)	36.1万人
生活交通導入地区数(試行運転開始地区を含む)	3地区	8地区
自転車利用環境の整備に対する満足度	23.8%	31.5%
主要渋滞箇所数	41箇所	38箇所

施策1 公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築

■岡山市地域公共交通利便増進実施計画の策定 都市整備局

- 岡山市地域公共交通網形成計画に基づき、持続可能な公共交通の実現に向けた具体的施策の取組のための岡山市地域公共交通利便増進実施計画の策定

■鉄道の利用環境改善 都市整備局

- 桃太郎線LRT化の検討や駅前広場等の交通結節点強化による鉄道利用環境の改善

■まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上〔再掲〕 都市整備局

- 路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ及びネットワーク化に向けた取組の推進
- バスロケーションシステム⁷等の案内情報の充実等

■バスの利用環境改善 都市整備局

- 車両及びバス停のバリアフリー化やサイクル&バスライド⁸駐輪場の整備、バス路線の渋滞解消のための道路整備、バスロケーションシステム等の案内情報の充実等によるバス利用環境の改善
- 国・県とともに広域的バス路線の運行経費の一部助成

■モビリティマネジメント⁹ 都市整備局

- 公共交通マップの配布、マイカー利用自粛の呼びかけ、小学生を対象としたバス教室などの実施

施策2 地域における生活交通の確保

■生活交通の維持・改善 都市整備局

- コミュニティバスの運行経費の一部助成や利用促進に資する運行サービスの改善

■新たな生活交通の確保 都市整備局

- 地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討

施策3 自転車先進都市の推進

■ 自転車走行空間の整備 都市整備局

- 自転車利用ニーズや道路状況に応じた、安全で快適な自転車走行空間の整備

■ 駐輪場の整備 都市整備局

- 自転車利用ニーズに応じた駐輪施設の整備及び放置禁止区域の指定・拡充

■ コミュニティサイクル「ももちゃり」の利用促進 都市整備局

- コミュニティサイクル「ももちゃり」の利用促進と継続性確保のための施設配置や運用に関する検討

■ 自転車ルール・マナー向上 都市整備局 市民生活局

- 交通安全教室の開催や街頭啓発活動の実施などによる自転車通行ルールや利用マナーの周知及び放置自転車の解消に向けた指導・啓発の実施

■ サイクリングロードの充実 都市整備局 産業観光局

- 観光振興も念頭に、関係機関と連携した、吉備路自転車道や吉備高原自転車道等におけるサイクリングに適した案内板や路面標示等の充実

施策4 道路ネットワークの充実・強化

■ 広域交通網の整備 都市整備局

- 主要渋滞箇所の渋滞解消、広域交流の強化、高速道路へのアクセス強化を目的とした美作岡山道路(瀬戸JCT～熊山IC)の整備、吉備スマートインターチェンジの改良

■ 外環状道路の整備(岡山環状道路) 都市整備局

- 市街地に流入する交通の適切な分散・誘導による渋滞緩和や安全な通行の確保を目的とした、市道藤田浦安南町線、主要地方道岡山赤穂線、市道江並升田線の整備

■ 中環状道路の整備 都市整備局

- 都心に集中する交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路下中野平井線の整備
- 国道53号方面からの交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路米倉津島線の整備

■ 生活道路の整備 都市整備局

- 踏切内の歩道設置や交通安全施設の整備等による生活道路の安全確保
- 狭小幅員の道路の改良による緊急車両通行困難地域の解消等

用語解説

- 7 バスロケーションシステム：p47の脚注参照。
- 8 サイクル&バスライド：通勤等において、自転車からバスへの乗り継ぎを促進する仕組みで、バス停近くに駐輪場を配置し、自転車からバスに乗り換えて目的地に向かうシステム。
- 9 モビリティマネジメント：渋滞や環境、個人の健康等の問題に対する意識を醸成することにより、一人ひとりの移動（モビリティ）が、過度な自動車利用から公共交通や自転車の利用に切り替わるよう促す交通施策。



政策7

景観・住環境

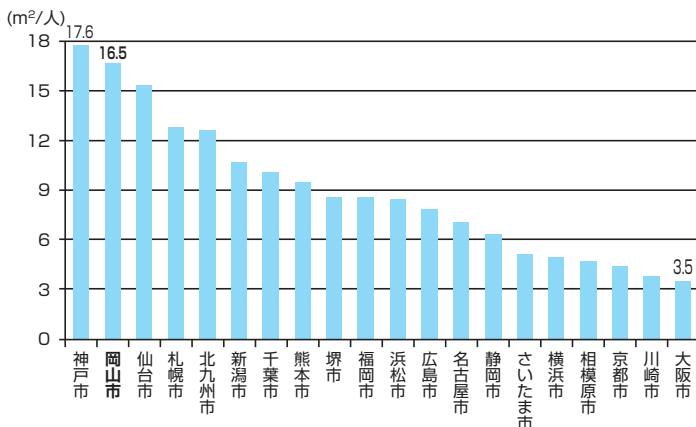
魅力ある景観と快適な 住環境づくり



現状と課題

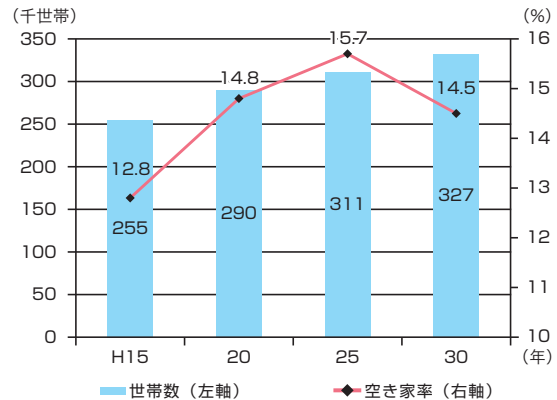
- 岡山市では、変化に富んだ豊かな自然環境と、歴史・伝統・文化が長い時間をかけてつくりだしてきた風景とが一体となり、多様性と個性を併せ持つ魅力的な景観が形成されています。その美しい景観を保全していくため、「岡山市景観条例」に基づき、市内全域で規制誘導方策を講じており、特に、都市の顔となる中心市街地では、景観形成重点地区¹とそれに連動する屋外広告物モデル地区²を指定しており、風格のある良好な景観の形成に取り組んでいくことが求められています。また、老朽化による倒壊や落下の恐れのある屋外広告物の安全対策が必要となっています。
- 岡山市の1人当たり公園面積は、政令指定都市の中で2番目に広く、特にまちなかでは、西川緑道公園、岡山城及び岡山後楽園周辺の旭川エリア等において、良好な景観を形成する取組を進めています。また、市民の暮らしに憩いと潤いをもたらすためには、街路樹や公園樹木のボリュームアップや質を向上し、岡山らしい水と緑の都市空間の魅力をさらに高めていく必要があります。一方で、公園の施設や設置器具の老朽化が進行しており、改築・更新や機能の見直しが求められています。
- 少子高齢化の進行に伴い、高齢者や子育て世帯等の住環境へのニーズが変化している状況を踏まえ、多様なニーズに対応していく必要があります。また、近年、空き家が増加しており、その中でも適切な管理が行われていない空き家は、防災・防犯、衛生面等で地域の生活環境に悪影響を及ぼすことが懸念されていることから、効果的・計画的な対策を進めていく必要があります。また、将来の火葬需要増加への対応と災害時等のリスク分散を考慮した斎場の整備のほか、墓じまいの増加や無縁化等を踏まえて市営墓地の適正な維持管理を行っていく必要があります。

政令指定都市別 1人当たり都市公園面積(平成30年度)



(資料) 国土交通省「都市公園データベース」

世帯数及び空き家率の推移



(資料) 総務省「住宅・土地統計調査」

施策の方向性

施策1

美しく風格ある都市景観の形成

- 市民、事業者、行政の役割分担のもと、協働しておかやまの原風景を守り、育て、美しく風格ある岡山固有の景観を未来へ引き継いでいきます。特に、中心市街地において良好な都市景観を形成するため、桃太郎大通りや県庁通り等において緑化の推進を図るとともに、建築物と広告物との調和のとれた良好な街並みを形成していきます。
- 屋外広告物による公衆に対する危害を防止するため、所有者等による適正な点検・維持管理を促進します。

施策2

水と緑あふれる憩いの空間づくり

- 都市生活に憩いと潤いをもたらす水と緑の空間づくりのため、中心市街地の街路樹や都市公園樹木のボリュームアップや質の向上による再生を進めることによって、魅力ある都市空間の形成を図ります。
- 岡山城、岡山後楽園周辺における水辺の回遊性・親水性の向上、憩い・賑わいの空間の創出により、歴史・文化や河川の景観を身近に楽しめる環境づくりを進めます。
- 公園施設については、効率的な維持補修や更新投資を行っていくための「公園施設長寿命化計画」に基づき、安全性や機能の確保とライフサイクルコスト³縮減に取り組むとともに、市民との協働によるパークマネジメント⁴の取組を推進します。

施策3

快適で暮らしやすい住環境づくり

- 「岡山市住生活基本計画」に基づき、人口減少、少子高齢化に伴う居住ニーズの変化を把握しつつ、既存住宅ストックや空き家の活用、耐震化・バリアフリー化等に配慮した住宅整備を計画的に推進します。
- 老朽化が進むなどにより、周辺環境に悪影響をもたらす特定空家等への対策については、「岡山市空家等対策計画」や、法及び条例に基づいて補助事業や代執行の実施等の取組を進めます。
- 将来の火葬需要への対応と災害時等のリスク分散を図るため、岡山北斎場の整備や瀬戸内市との広域的な連携による火葬場の整備を進めます。また、市営墓地については、墓じまいの増加や無縁化等を踏まえて適正な維持管理に努めます。

用語解説

- 1 景観形成重点地区：優れた景観を有する地区又は新たに良好な景観を創出すべき地区など、重点的に景観形成を推進していくために指定する地区。現在、後楽園背景保全地区、都心軸沿道地区、岡山カルチャーゾーンを当該地区に指定している。
- 2 屋外広告物モデル地区：屋外広告物の基準を強化し、都市の良好な景観又は風致を維持するために指定する地区。通常の屋外広告物の許可基準に加え、モデル地区掲出基準にも適合する必要がある。現在、桃太郎大通りなどを当該地区に指定している。
- 3 ライフサイクルコスト：施設の計画・設計・施工から、維持管理、最終的な解体・廃棄までに要する費用の総額。
- 4 パークマネジメント：p47の脚注参照。

指標名	基準値 R1	目標値 R7
美しい都市景観の形成に対する満足度	31.2%	32.5%
パークマネジメント導入公園数	—	3公園
住宅や住環境の整備に対する満足度	31%	32.6%

施策1 美しく風格ある都市景観の形成

■ 都市景観形成事業 都市整備局

- ・景観計画に基づく都市の良好な景観や風致の形成
- ・有資格者による屋外広告物点検の促進

施策2 水と緑あふれる憩いの空間づくり

■ 緑のボリュームアップ事業 都市整備局

- ・緑化推進重点地区における公共施設の植樹
- ・公共施設における緑のカーテン⁵設置の推進

■ 岡山西部総合公園(仮称)整備事業 [再掲] 都市整備局

- ・多目的広場、芝生広場、見晴らしの丘等の配置による、健康増進及び賑わい創出に資する緑あふれる総合公園の整備
- ・防災公園(広域避難場所、地域防災拠点)としての機能の整備

■ 公園施設長寿命化対策支援事業 都市整備局

- ・都市公園施設の健全度調査の実施
- ・維持補修費用の平準化を目的とした、すべての都市公園を対象とする公園施設長寿命化対策の実施

■ 西川魅力にぎわい創出事業 [再掲] 都市整備局

- ・西川パフォーマー⁶等との協働による西川緑道公園の特色をいかした定期的なイベントの開催
- ・西川緑道公園筋(平和橋～桶屋橋)における歩行者天国の定期開催による賑わいづくり
- ・パークマネジメントによる西川緑道公園の魅力の向上

■ 旭川かわまちづくり事業 [一部再掲] 都市整備局

- ・旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川おしろみちの整備や烏城公園(石山公園地区)の再整備等
- ・市民、事業者、NPO⁷、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり

施策3 快適で暮らしやすい住環境づくり

■岡山市住生活基本計画に基づく住環境の整備促進 都市整備局

- 市の現状や岡山市第六次総合計画、全国計画の見直し内容等を踏まえた「岡山市住生活基本計画」の改訂(令和3年度)
- 市営住宅等の効率的・効果的な機能更新や再生を実現するための「岡山市営住宅等長寿命化計画」の改訂(令和4年度)

■空き家対策 都市整備局

- 法及び条例に基づく措置と密接に連携した助成制度を軸とした空き家等の適正管理の促進

■岡山北斎場整備事業 市民生活局

- 北部地域をカバーするための岡山北斎場の整備

■瀬戸内市新火葬場整備事業 市民生活局

- 東部地域をカバーするための瀬戸内市との広域的な連携による火葬場の整備

■市営墓地維持管理事業 市民生活局

- 市営墓地の適正な維持管理

用語解説

- 5 緑のカーテン：p47の脚注参照。
- 6 西川パフォーマー：p47の脚注参照。
- 7 NPO：p5の脚注参照。



政策8
歴史・文化

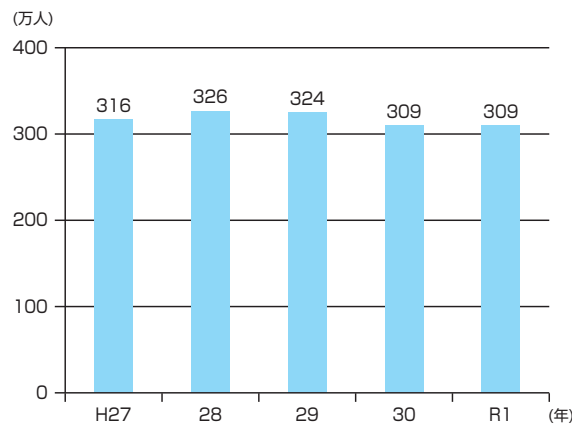
歴史・文化による 新たな魅力の創出と発信



現状と課題

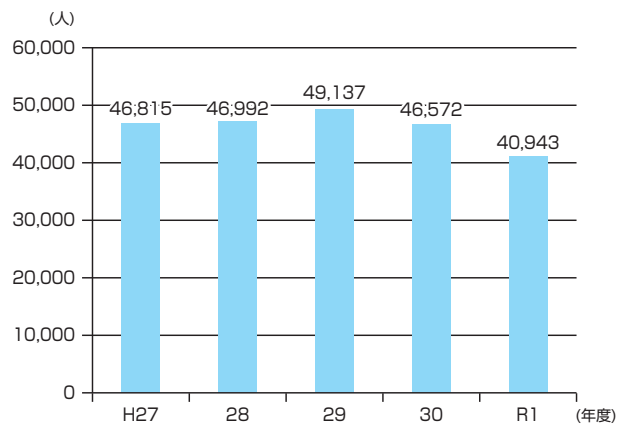
- 岡山市は、古代に吉備国と呼ばれた地域の重要な一角を占めており、古代吉備勢力の繁栄を伝える遺跡群のほか、城下町、陣屋町、門前町や宿場町など、個性ある歴史・文化資産が数多く存在しています。国指定史跡数は、政令指定都市の中で京都市に次いで2番目に多く、岡山市の文化力の高さを物語っています。
- 岡山城、岡山後楽園等の歴史資産や、美術館、博物館等の文化施設が集積する「歴史・文化ゾーン」には近年300万人を超える来訪があります。効果的な情報発信、施設間の連携強化、歴史・文化資産をいかした新たな文化芸術の創造など、一層の魅力向上に取り組むことにより、来訪者のさらなる増加や都市格の向上につなげていくことが求められています。
- 各地域には、多くの歴史・文化資産がありますが、その掘り起こしや市民や来訪者に対する魅力の発信が十分ではありません。また、人口減少の進行により、地域の祭りをはじめとする郷土文化の担い手不足が懸念されています。このため、子どもの頃から地域の歴史・伝統・文化への理解と愛着を育むとともに、地域内外にその魅力や価値を発信し、歴史・文化資産を適切に保存・継承していくことが求められています。

歴史・文化ゾーン来訪者数の推移



(資料) 各施設調べ
※岡山カルチャーゾーン連絡協議会加入施設：夢二郷土美術館、岡山後楽園、岡山県立博物館、岡山城、林原美術館、岡山シンフォニーホール、岡山市立オリエント美術館、岡山県立美術館、岡山県立図書館、岡山県天神山文化プラザ、ルネスホール、岡山市民会館

文化財施設・講演会等への来訪者数の推移



(資料) 岡山市担当課調べ

施策1

歴史・文化資産をいかしたまちの魅力の創造と発信

- 歴史・文化資産と現代アートなどの文化芸術を融合させた国際展「岡山芸術交流」については、実施結果の検証を踏まえて次回開催をめざすとともに、「おかやま国際音楽祭」をはじめとする文化芸術イベントの開催等を通じて、新たなまちの魅力や文化を創造し、国内外に向けて積極的に発信することにより、多くの人々が訪れ、交流する芸術・文化のまちづくりを進めます。
- 歴史・文化ゾーンにおける魅力と賑わいのさらなる向上に向けた取組を行うとともに、岡山城と岡山後楽園をはじめとする各施設間の連携強化や効果的な情報発信等を進めます。また、大規模改修を行う岡山城は、来訪者が楽しみながら体験・体感できる展示を取り入れるなどにより、岡山の歴史をわかりやすく伝えます。
- 岡山市の強みである歴史・文化資産を掘り起こして、新たな観光資源として磨き上げ、魅力を高めていきます。

施策2

歴史・文化資産の活用と継承

- 史跡、文化財を適切に保存し、次代へ継承していくため、造山古墳群、岡山城跡等の文化財の再生・保存、有効活用を進めます。
- 文化財に関する講演会や講座の実施、子どもの頃から地域の歴史・伝統・文化に触れ親しむ機会の提供等を通じて、郷土の歴史的価値への認識を深め、市民の郷土への愛着と誇りを育みます。
- 埋もれた歴史・文化資産の由来等について、市民、来訪者が親しみ、楽しむことのできる環境づくりを進めるとともに、地域住民による地域固有の歴史・伝統・文化の保存・活用等の取組を支援します。

指標名	基準値 R1	目標値 R7
歴史・文化ゾーン来訪者数※	309万人	336万人
文化財施設・講演会等への来訪者数※	40,943人	47,300人

※新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた指標のため、前期中期計画の目標値を引き続き設定

施策1 歴史・文化資産をいかしたまちの魅力の創造と発信

■ 岡山芸術交流の開催 市民生活局

- ・岡山城周辺の歴史・文化ゾーンを主会場とした「岡山芸術交流2019」の開催、実施結果の検証を踏まえた次回開催をめざした検討

■ 都心創生まちづくり事業 政策局

- ・旧内山下小学校や市民会館等の跡地活用の検討等

■ 観光資源の魅力アップ事業(岡山城と岡山後楽園のタイアップ) [一部再掲] 産業観光局

- ・岡山城と岡山後楽園のさらなる魅力向上に向けた、烏城灯源郷と幻想庭園の連携をはじめとする各種連携イベントの開催や情報発信

■ オリент美術館と県立美術館等との共同事業 [再掲] 教育委員会

- ・隣接する県立美術館等との共同による情報発信、特別展の企画や学習プログラムの開発等

■ 観光施設の活用事業(岡山城の魅力アップ) [一部再掲] 産業観光局

- ・岡山城の魅力向上に向け、ハード、ソフト両面から必要な施策を実施

■ 文化芸術に親しむ事業(おかやま国際音楽祭) [一部再掲] 市民生活局

- ・多彩な音楽文化に触れることのできる「おかやま国際音楽祭」などの開催

■ 観光資源の魅力アップ事業(歴史・伝統・文化の活用、継承) [一部再掲] 産業観光局

- ・日本遺産¹をはじめとする歴史・文化資産を活用した情報発信、受入体制の整備等による地域への愛着と誇りの高揚、観光資源としての魅力の向上

施策2

歴史・文化資産の活用と継承

■ 史跡造山古墳群保存整備事業 教育委員会

- ・造山古墳（全国第4位の規模で、実際に登れる古墳としては全国第1位の規模）を中心とした造山古墳群を保護・保存し活用するための整備

■ 史跡岡山城跡の保存整備事業 教育委員会

- ・岡山城跡について、城郭としての歴史的環境の整備、破損箇所等の保存修理による岡山城跡本来の景観の復元と活用

■ 史跡公有化の推進 教育委員会

- ・造山古墳群、大廻小廻山城跡などの史跡の長期的な保護・保存を目的とした公有化の推進

■ 文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用 教育委員会

- ・発掘調査の成果や所管する文化財の公開、文化財に関する講座の開催

■ 岡山の歴史・文化に親しむ事業 政策局 産業観光局

- ・地域の歴史・文化の由来等を顕す統一したデザインの案内看板等の活用による地域への愛着と誇りの高揚、地域の魅力発信

■ 観光資源の魅力アップ事業(歴史・伝統・文化の活用、継承) [一部再掲] 産業観光局

- ・地域文化の創造を目的とした郷土に根付いた芸能の振興と民謡の普及促進

長期構想

後期中期計画

I 総論

II 分野別計画

III 区別計画

付属資料



政策9
文化芸術

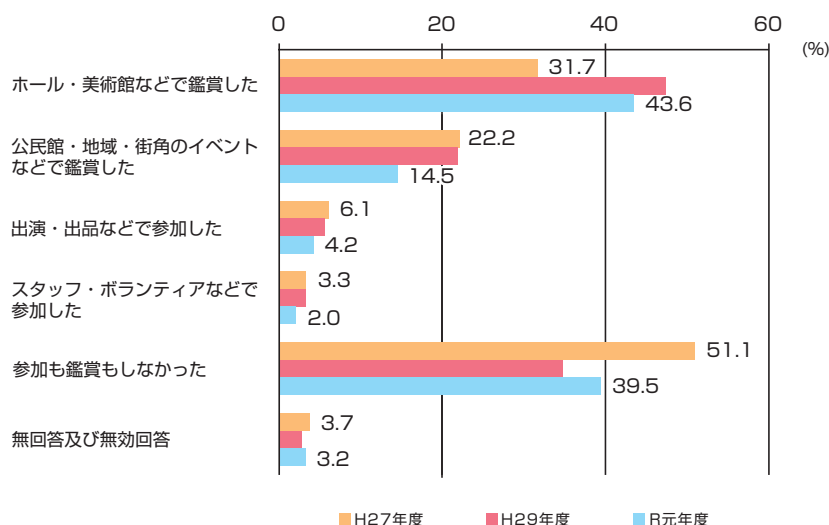
暮らしに息づく
文化芸術の振興



現状と課題

- 文化芸術は、人の心を豊かにし、まちに活力と賑わいをもたらすとともに、次代を担う子どもの豊かな感性や創造力をかん養するなど、まちづくりにおいて重要な役割を担っています。そして、新型コロナウイルス感染症で市民の様々な活動が停滞する中、文化芸術の重要性が再認識されており、感染防止対策を行いながら、市民が文化芸術を楽しめる機会の充実を図っていく必要があります。
- 文化庁は、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とする文化プログラムを全国展開するために、文化芸術の人材育成・確保、新しい文化芸術の創造、文化芸術の国内外への発信等を推進する方針を示しています。
- 岡山市は、岡山市立オリエント美術館や岡山シンフォニーホールなど、文化芸術に触れ、親しむことのできる施設が充実しています。過去1年間にホール、美術館等で文化芸術を鑑賞した市民の割合は、平成27年度から令和元年度にかけて10ポイント以上上昇するなど、美術や演劇、音楽等の実物・実演を直接体験している市民は増加傾向にあります。
- また、新たな活動拠点として、令和5年夏頃の開館をめざし、岡山芸術創造劇場の整備を進めています。これに伴い、市民が多様な文化芸術に触れ、親しみ、楽しむ機会や場を充実するほか、子どもの頃から文化芸術を体験できる機会づくり、新たな担い手の育成等を進めることが求められています。そして、市民の多様で創造的な文化芸術活動と岡山らしい文化の発信を促進し、地域の魅力や賑わいの創出につなげていく必要があります。

過去1年間に何らかの文化芸術イベントに参加・鑑賞した人の割合(複数回答)



(資料)「岡山市市民意識調査」

施策1

文化芸術施設を核にした文化芸術の振興

- 「岡山芸術創造劇場」を地域の文化芸術の継承・創造・発信や多様な文化芸術の担い手の育成、活動の拠点として整備を進めます。その開館を契機として既存文化事業の見直しを行いながら、文化の薫る魅力と賑わいのあるまちづくりを進めます。
- 岡山シンフォニーホールを拠点に活動する岡山フィルハーモニック管弦楽団による演奏会、岡山シティミュージアムの展示内容のより一層の充実や岡山市立オリエント美術館での魅力的な特別展の開催、各施設での子ども向けプログラムの提供等により、市民や来訪者に多様な文化芸術に触れ、親しみ、楽しむ機会を提供するとともに、新たな文化の担い手を育成します。

施策2

市民の文化芸術活動の推進

- 子どもから大人まで、まちなか等の身近な場所で音楽等の様々な文化芸術に触れ親しむことができる機会を提供するとともに、「岡山市芸術祭」をはじめとする市民の文化芸術活動や創作活動の発表の場を充実します。
- 地域の文化芸術団体、NPO¹等との連携や協働による文化事業の実施を通じて、文化芸術活動とまちづくりをつなぐ人材の育成を進めることにより、暮らしの中に文化芸術が息づく心豊かな市民生活を実現します。

¹ NPO : p5の脚注参照。

指標名	基準値 R1	目標値 R7
過去1年間に文化芸術を体験(参加・鑑賞)した人の割合	57.3%	65%

施策1 文化芸術施設を核にした文化芸術の振興

■ 岡山芸術創造劇場整備事業 市民生活局

- 市民の文化芸術の鑑賞や活動の拠点である岡山市民会館・市民文化ホールに替わる新しい文化芸術施設の整備

■ 岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援 市民生活局

- 県内唯一のプロオーケストラである岡山フィルハーモニック管弦楽団の運営支援を通じた、プロの演奏に触れる機会の増加や都市の魅力向上

■ 岡山シティミュージアムの運営 市民生活局

- 岡山の歴史・文化を記録・保存・展示・発信し、市民の営みやまちの誇りを次世代へ伝えていく常設展や特別展の開催
- 他の文化施設との機能連携による魅力向上

■ オリент美術館と県立美術館等との共同事業 教育委員会

- 隣接する県立美術館等との共同による情報発信、特別展の企画や学習プログラムの開発等

施策2 市民の文化芸術活動の推進

■ 文化芸術に親しむ事業 市民生活局

- 多彩な音楽文化に触れることのできる「おかやま国際音楽祭」の開催
- 地域の文化活動団体の表現の場である「岡山市芸術祭」の開催
- 岡山市出身の坪田譲治を顕彰する「坪田譲治文学賞」と市民の創作活動を奨励する「市民の童話賞」の実施

■ 子どもたちへの文化体験機会の提供 市民生活局

- アーティストが学校で子どもたちに授業を行うなど、子どもたちに文化体験の機会を提供する「チルドレン・ミート・アート・プログラム」事業等の実施

長期構想

後期中期計畫

I 總論

II 分野別計畫

III 區別計畫

付屬資料



政策10
スポーツ

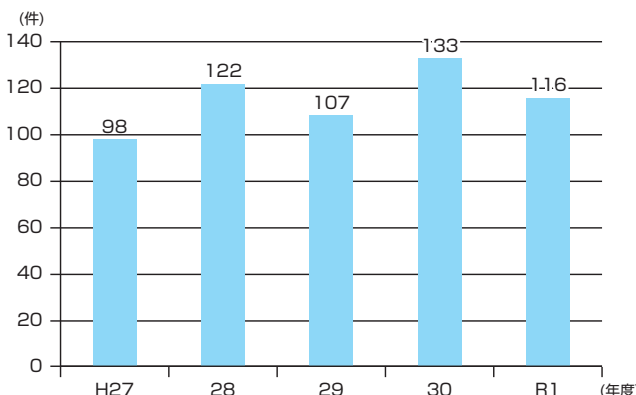
地域の活力を育む
スポーツの振興



現状と課題

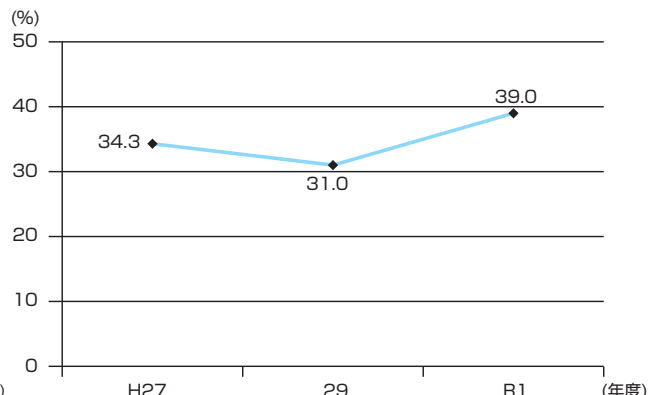
- 健康志向の高まりや余暇時間の増大により、市民のスポーツへの関心は高まっています。また、スポーツに親しみ、楽しむだけでなく、地域を本拠地とするトップチームを支えるという新たなスポーツ文化が根付いてきています。そして、新型コロナウイルス感染症で市民の様々な活動が停滞する中、スポーツの重要性が再認識されており、感染防止対策を行いながら、市民がスポーツを楽しめる機会の充実を図っていく必要があります。
- 岡山市をホームタウンとするトップチームは、ファジアーノ岡山（サッカー）と岡山シーガルズ（バレーボール）のほか、新たに岡山リベッツ（卓球）、トライフープ岡山（バスケットボール）が加わり、本市におけるトップチームの存在感は増してきています。今後も、トップチームを支える活動を通じて市民の地域への愛着と誇りを醸成し、スポーツによるまちの魅力と活力を高めていく必要があります。
- スポーツの全国大会・国際大会の開催は、市民のスポーツへの関心や競技力の向上に寄与するとともに、市の魅力を対外的に発信できる貴重な機会となっています。また、多くのスポーツ関係者が訪れることにより高い経済効果も期待できます。このため、大規模なスポーツ大会の誘致・開催に向けた体制強化を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、スポーツの振興に加え、国内外に向けた岡山市のPRや地域振興を進めていくことが求められています。
- 成人のスポーツ実施率は、平成27年度から平成29年度にかけて低下したものの、令和元年度には上昇しています。市民一人ひとりがライフステージや身体の状態・能力に応じて、いつでもどこでも気軽にスポーツを楽しめる機会を充実することにより、スポーツへの興味・関心を高め、スポーツ実施率のさらなる向上を図る必要があります。

スポーツ大会の開催状況の推移



(注) 中国地区以上の規模で岡山市内で宿泊を伴い参加者が概ね100人以上の大会
(資料) 公益社団法人 おかやま観光コンベンション協会

成人の週1回以上のスポーツ実施率の推移



(資料) 「岡山市市民意識調査」

施策の方向性

施策1

スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成

- 岡山市をホームタウンとするトップチームへの一層の支援を通じて、市民に夢と感動をもたらすスポーツによるまちの活力と一体感を生み出すとともに、市民の地域への愛着と誇りを醸成します。
- 県内外から多くの参加者が集まる「おかやまマラソン」について、沿道応援やボランティア活動等を通じて地域全体で盛り上げることにより、市民のスポーツ振興の気運を高めるとともに、地域コミュニティの活性化につなげます。

施策2

東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域振興と競技力の向上

- 東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致事業、ホストタウン¹事業等の経験をいかし、スポーツの振興とともに、国内外に向けた岡山市のPRや地域振興につなげます。
- 岡山市での大規模なスポーツ大会の開催に対する支援や市を代表して活躍する選手への支援等により、市民のスポーツに対する関心や競技力向上に対する意欲を高めます。

施策3

ライフステージに応じたスポーツの振興

- 市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の計画的な整備や適切な維持管理等を進めるとともに、地域でのスポーツ振興を担う関係団体と連携し、市民参加型のスポーツイベントや競技大会等を開催することにより、ライフステージ等に応じた市民のスポーツ活動を促進します。

用語解説

¹ ホストタウン：東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、大会参加国の事前合宿の受け入れ等を通じて、スポーツ、文化等の交流を図ろうとする制度で、国が地方公共団体を「ホストタウン」として登録するもの。

指標名	基準値 R1	目標値 R7
成人の週1回以上のスポーツ実施率	39.0%	65%

施策1 スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成

- **トップチーム支援事業** 市民生活局
 - ・市民デーでの各種イベントの開催や選手との交流イベント等への支援

- **おかやまマラソン** 市民生活局
 - ・岡山県や関係団体との共同による「おかやまマラソン」の開催
 - ・各種関連事業の実施による、岡山の魅力発信

施策2 東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域振興と競技力の向上

- **東京2020オリンピック・パラリンピック等誘致事業** 市民生活局
 - ・東京2020オリンピック・パラリンピック等の開催に伴う事前キャンプの誘致
 - ・ホストタウン交流計画に基づく事業の推進

- **競技スポーツ振興事業** 市民生活局
 - ・岡山市で開催される全国大会に対する負担金の支出
 - ・岡山市を代表して活躍する選手への激励金の支給や顕彰等

施策3 ライフステージに応じたスポーツの振興

- **体育施設整備事業** 市民生活局
 - ・スポーツ施設の計画的な整備、修繕の実施

- **体育施設管理事業** 市民生活局
 - ・スポーツ施設の適切かつ効率的な管理運営

- **体育団体等育成事業** 市民生活局
 - ・地域のスポーツ統括団体である「一般財団法人岡山市スポーツ協会」の育成・支援

- **学校体育施設開放事業** 市民生活局
 - ・地域の身近なスポーツ拠点である学校体育施設の開放と管理

- **障害者スポーツ振興事業** 保健福祉局
 - ・障害者体育センターの運営や障害者体育祭等の開催
 - ・全国障害者スポーツ大会への選手派遣等

長期構想

後期中期計畫

I
總
論

II
分
野
別
計
畫

III
區
別
計
畫

付
屬
資
料